

令和 **4** 年度版

(2022 年度)

西宮市教育年報

西宮市教育委員会

令和4年度(2022年度)版 西宮市教育年報

目 次

第1章 教育行財政

概要	1
----	---

第1節 教育行政

1 教育委員会関係事務(220901)	1
2 教育委員会の表彰・広報活動・調査統計	2
3 校務改善の取組み	3
4 教育委員会人事関係事務(220902)	3

第2節 教育財政

1 教育費予算及び決算概要	8
---------------	---

第2章 学校教育

概要	9
----	---

第1節 学事

1 学籍等事務(220202)	9
2 奨学事業(220502)	11
3 就学奨励助成事業(220503)	12
4 入園関係事業(210213)	13
5 学校改革事務(220101)	14

第2節 学校教育

1 指導助言関係事務(220206)	15
2 基礎学力向上事業(220203)	17
3 学校体育推進事業(220602)	17
4 小学校体験活動事業(220603)	20
5 学校人権教育事業(220604)	21
6 国際教育事業(220608)	23
7 トライやる・ウィーク推進事業(220606)	24
8 学校へのサポート	26
9 進路指導	31
10 高校教育	31
11 防災教育	32

第3節 特別支援教育

1 特別支援教育事業(220401)	32
--------------------	----

第4節	学校保健安全	34
1	生徒指導事業（220504）	34
2	校内災害対策事業（220505）	38
3	学校健康診断事業（220506）	39
4	学校保健管理事業（220507）	40
5	教育支援センター整備	42
6	不登校児童生徒支援事業（220511）	42
第5節	学校給食	46
1	給食管理運営事業（220508）	46
2	給食施設設備整備事業（220509）	48
第6節	学校情報化推進	49
1	学校情報化推進事業（220207）	49
第7節	総合教育センター	50
1	研究・研修事業（220701）	50
2	現職教育－専門研修	52
3	現職教育－職務研修	53
4	教育情報	55

第3章 社会教育（教育委員会所管分）

	概要	58
第1節	社会教育	59
1	家庭教育関係事業（230201）	59
2	学校・家庭・地域の連携協力推進事業（230202）	60
3	放課後キッズルーム事業（230305）	61
第2節	青少年教育	63
1	青少年育成事業（230102）	63
2	青少年関係団体の育成	64
3	山東自然の家管理運営事業（230104）	64
4	青少年補導関係事業（230103）	65
5	山東自然の家改修事業（230106）	65

第4章 教育施設

	概要	66
1	施設整備事業	67
2	学校維持管理事業（220803）	75
3	施設管理関係事務（220802）	76

第 1 章 教 育 行 財 政

概 要

教育行財政に関する令和4年度の主な事務事業は次のとおりである。

教育委員会会議を開催し、『西宮教育推進の方向』における西宮教育の推進方針をはじめ、教育行政の基本方針について決定した。

表彰関係では、西宮市教育功労者表彰などを行った。

広報関係では、本市教育行政を紹介するため、『教育要覧』及び『教育年報』を作成した。また、シティプロモーションサイトの教育カテゴリーにて本市の特徴的な教育施策などの発信を行うとともに、学校園や各教育機関の行事などについて、市政記者クラブへの情報提供を行った。

財政関係では、教育費の最終予算現額は241億908万円で、執行済額は、令和3年度と比べて西宮支援学校校舎等改築事業費で15億8,437万円減少したが、安井小学校教育環境整備事業費で22億7,766万円、小学校施設整備事業費で12億3,999万円、瓦木中学校教育環境整備事業費で4億1,564万円、それぞれ増加となり、221億6,873万円であった。

職員数については、配置調整により、令和3年4月1日に比し13人の減員を行った。

地方創生臨時交付金を活用し、新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中、原油価格・物価高騰等に直面する子育て世帯等に対する経済的支援を目的として、給食費の保護者負担の軽減を行った。また、各学校が感染症対策を講じながら教育活動を着実に継続するために必要な消耗品費や備品購入費などを各学校に配当して支援を行ったほか、学校トイレの床の乾式化、一部洋式便器化及び小便器自動洗浄機能追加改修などを行った。

第 1 節 教育行政

1 教育委員会関係事務 (220901)

(1) 教育長及び教育委員 令和5年3月末現在

教育長	重 松 司 郎
委員 (教育長職務代理者)	側 垣 一 也
委 員	長 岡 雅 美
委 員	藤 原 唯 人
委 員	山 本 幸 夫

(2) 教育委員会の会議

ア 開催状況

区 分	定例会	臨時会	合 計
回 数	12	6	18

イ 案 件

区 分	議 案	報 告	一般報告・資料報告
件 数	65	15	37

(3) 総合教育会議

第1回	日時	6/10（金）13：30～
	議題	・ 長期化するコロナ禍における学校教育の現状について （ア）教育活動について （イ）保健衛生について （ウ）ICT活用状況について
第2回	日時	11/29（火）14：00～
	議題	・ 休日の部活動の段階的な地域移行に向けて

2 教育委員会の表彰・広報活動・調査統計

(1) 教育委員会の表彰

名 称	目 的	被表彰者数	表彰年月日
西宮市教育功労者表彰	教育の振興、発展に資するため、教育に顕著な功績があった者を表彰する。	1個人 1団体	2/20
教育長表彰	教育、学術、技芸、体育その他文化の振興発展に寄与し、その功績が顕著な生徒、児童又は園児を表彰する。	10個人8団体	2/16

(2) 広報活動

広報印刷物

名 称	発行回数	発行総部数
教育要覧（令和4年度版）	1	830
教育年報（令和3年度版）	1	280

(3) 調査統計

種 別	内 容
学校基本調査（基幹統計）	児童・生徒・教員数等の調査、卒業後の状況調査、幼・小・中・各種学校等の施設調査等
地方教育費調査	地方教育費の調査等
その他の調査	他市からの照会調査等

3 校務改善の取組み

平成21年度から校務支援システムを順次開発し、ICT機器の活用による校務の負担軽減に努めた。

平成29年度から担当課名を校務改善課に改称し、負担軽減を図る取組みを強化した。令和元年度から校務改善課は発展的に解消し、担当業務を教育研修課と教育職員課が引き継いだ。主な改善策として、令和2年度に策定した西宮市立学校の教育職員の業務量の適切な管理に関する措置等を定める規則及び方針の実効性のある取組みとして、教職員の勤務時間を客観的に把握する勤務時間管理システムを導入した。また、全ての学校において電話機による自動音声案内の導入や小・中学校、義務教育学校で欠席連絡アプリを導入し、校務の負担軽減を図った。

また、教職員の勤務時間適正化について市民や保護者の理解を得るため、市政ニュースやHP等で広報を行った。さらに感染症対策や業務負担を軽減するため、スクール・サポート・スタッフを全校に配置した。

4 教育委員会人事関係事務 (220902)

(1) 職員の異動（学校園勤務の教育職員・県費職員を除く）

職種	区分	兼任	出向受	試用解除	昇任	転任	解職	休職	復職	出向	解任	退職	再任用	
													採用	退職
事務・技術職員		0	8	2	1	12	0	4	5	9	0	1	1	0
技能・労務職員		0	0	0	5	29	0	8	2	0	0	9	7	9
医療職員		0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0
教育職員		10	0	0	8	5	0	0	0	0	8	2	0	0
合計		10	8	2	14	46	0	14	8	9	8	12	8	9

(2) 教職員の異動

ア 校園長の異動

区分	小学校	中学校	義務教育学校	特別支援学校	高等学校	幼稚園	計
新採用	11	2	0	1	1	0	15
市内異動	4	3	1	0	0	0	8
市外	転入 0	0	0	0	0	0	0
	転出 0	0	0	0	0	0	0
前年度退職	10	3	0	0	1	1	15
合計	25	8	1	1	2	1	38

イ 教頭の異動

区分	小学校	中学校	義務教育学校	特別支援学校	高等学校	幼稚園	計
新採用	12	3	1	0	2	2	20
市内異動	8	3	1	1	0	0	13
市外	転入 0	1	0	0	1	0	2
	転出 0	0	0	0	1	0	1
前年度退職	1	0	0	0	1	0	2
合計	21	7	2	1	5	2	38

ウ 一般教職員の異動

区分	教諭(主幹教諭含む)							(主幹教諭含む) 養護教諭	(主幹教諭含む) 栄養教諭	中計	県費事務職員	計
	小学校	中学校	義務教育学校	特別支援学校	高等学校	幼稚園	小計					
新採用	47	28	1	3	0	2	81	2	0	83	1	84
市内異動	84	48	1	1	1	4	139	8	3	150	7	157
市外	転入	6	3	0	0	3	12	0	0	12	0	12
	転出	5	2	0	0	1	8	2	0	10	1	11
前年度退職	37	24	0	0	2	0	63	2	0	65	3	68
合計	179	105	2	4	7	6	303	14	3	320	12	332

※ 「市内」には、市教委事務局採用を含む。
「市内」には、小・中・特・高の校種間異動を含む（校種間異動は入りの校種で計上）。
「市外」には、県立学校・国立学校・他府県・県教委事務局採用を含む。
「前年度退職」は、令和3年度のもの。
再任用は含まない。

(3) 事務局及び教育機関（学校園を除く）職員現員状況（令和5年3月1日現在）

課名	行政職								医療職		教育職				
	次長 部長	課長	係長	主査 副主査 主事	技師	技能職	労務職	計	係長	栄養士	次長 部長	課長	係長	指導 主事	計
教育次長	1							1			1				1
参与	2							2							
教育総括室	1							1							
教育総務課		1	4	2				7							
教育企画課		1	2	2				5							
教育人事課		1	3	4				8							
教育職員課			2	1				3			1	3	1	5	
学校管理課		1	2	7				10							
学校施設計画課		1	4	4				9							
学校給食課		1	4	4				9	2						
学校支援部	1							1							
地域学校協働課		2	3	2				7							
青少年育成課		1	3	3				7							
学事課		1	2	6				9							
学校改革課		2	1	1				4					1	1	
学校教育部										1					1
学校教育課			1	1				2			1	3	7	11	
学校保健安全課			2	3				5			2	4	5	11	
教育研修課		1	2	1		2		6			1	3	6	10	
				(2)				(2)							
特別支援教育課			1					1			1	1	3	5	
計	5	13	36	41	0	0	2	97	0	2	2	6	14	23	45
				(2)				(2)							

※ カッコ内は再任用短時間勤務職員で外数。

(4) 学校園職員現員状況（令和5年3月1日現在）

ア 小学校

職名 校名	県費教職職員							市費教職職員							小計	合計		
	校長	教頭	教諭	養護教諭	事務職員	学校栄養職員 栄養教諭	小計	用務班長	用務員	会計年度任用職員	子調理員	調理員	会計年度任用職員	子調理員			調理員	小計
浜 脇 小	1	1	38	1	2	1	44							6	1	8	52	
香 榎 園 小	1	1	44 (1)	2	2	1	51 (1)	1						1		8	59 (1)	
安 井 小	1	1	32	1	2	1	38	1							5	7	45	
夙 川 小	1	1	39	2	2	1	46	1							6	8	54	
北 夙 川 小	1	1	30	1	1	1	35	1							5	7	42	
苦 楽 園 小	1	1	23 (1)	1	1	1	28 (1)	1							3	1	6	34 (1)
大 社 小	1	1	26 (1)	1	1	1	31 (1)	1							4	1	7	38 (1)
神 原 小	1	1	22	1	1		26			1					3	5	31	
甲 陽 園 小	1	1	38 (1)	2	2	1	45 (1)	1							5	7	52 (1)	
広 田 小	1	1	34	2	2	1	41	1							5	7	48	
平 木 小	1	1	26	1	1		30	1							1	5	35	
甲 東 小	1	1	35	2	2	1	42		(1)						5	6 (1)	48 (1)	
上 夕 原 小	1	1	36	1	2	1	42	1							4	1	7	49
上 夕 原 南 小	1	1	25	1	1	1	30								4	1	6	36
段 上 小	1	1	24 (1)	1	1	1	29 (1)								4	1	6	35 (1)
段 上 西 小	1	1	34 (1)	1	1	1	39 (1)	1							4	1	7	46 (1)
樋 ノ 口 小	1	1	38 (1)	2	2	1	45 (1)	1							6	8	53 (1)	
高 木 小	1	1	31	1	1	1	36	1							3	1	7	43
高 木 北 小	1	1	25	1	1	1	30	1							4	6 (1)	36 (1)	
瓦 木 小	1	1	22	1	1	1	27	1							2	1	6	33
深 津 小	1	1	31 (1)	1	1	1	36 (1)			1					4	1	7	43 (1)
瓦 林 小	1	1	29	1	1	1	34	1							4	1	7	41
上 甲 子 園 小	1	1	31 (1)	1	2	1	37 (1)	1							5	7	44 (1)	
津 門 小	1	1	30	1	1	1	35	1							6	8	43	
春 風 小	1	1	40	2	2	1	47	1							6	8	55	
今 津 小	1	1	24 (1)	1	1	1	29 (1)	1							4	1	7	36 (1)
用 海 小	1	1	27 (1)	1	1		31 (1)	1							4	1	7	38 (1)
鳴 尾 小	1	1	16	1	1		20	1							3	5	25	
南 甲 子 園 小	1	1	38 (1)	2	2	1	45 (1)		(1)						6	1	8	53 (2)
甲 子 園 浜 小	1	1	26	1	1	1	31	1							4	1	7	38
高 須 小	1	1	19	1	2		24	1							3	1	6	30
高 須 西 小	1	1	21	1	2		26								3	4	30	
鳴 尾 東 小	1	1	25	1	1	1	30	1							3	1	6	36
鳴 尾 北 小	1	1	41	2	2	1	48	1							6	8	56	
小 松 小	1	1	29	1	1	1	34	1							3	1	6	40
山 口 小	1	1	18	1	1		22	1							3	1	6	28
北 六 甲 台 小	1	1	21 (1)	1	1		25 (1)	1							3	5	30 (1)	
名 塩 小	1	1	21 (1)	1	1	1	26 (1)	1							4	6	32 (1)	
東 山 台 小	1	1	21 (1)	1	1		25 (1)	1							3	1	6	31 (1)
生 瀬 小	1	1	20	1	1		24	1							3	1	6	30
計	40	40	1150 (15)	49	55	30	1364 (15)	1	31 (2)	2	40	3	0	166	21 (1)	264 (3)	1628 (18)	

※ 「教諭」には、本定欠職を含む（代替職は含まない）。

カッコ内は再任用短時間勤務職員で外教。

イ 中学校

職名 校名	県費教職員							市費教職員							小計	合計	
	校長	教頭	教諭	養護教諭	事務職員	学校栄養職員 栄養教諭	小計	用務班長	用務員	会計年度任用 A員	介助員	調理員	会計年度任用 A員	調理員			会計年度任用 A員
浜 脇 中	1	1	43	2	2	1	50		1		1			5	1	8	58
大 社 中	1	1	45	2	2	1	52	1		1			1	5	1	9	61
苦 楽 園 中	1	1	27	1	1		31		1		1			3	1	6	37
上 ケ 原 中	1	1	33	1	1	1	38		1		1			4		6	44
甲 陵 中	1	1	37 (2)	2	2	1	44 (2)		1		1			5		7	51 (2)
平 木 中	1	1	25 (1)	1	2		30 (1)		1		1			3	1	6	36 (1)
甲 武 中	1	1	46	2	2	1	53		1		1			5	1	8	61
瓦 木 中	1	1	37 (1)	2	2	1	44 (1)		1		1	1		4		7	51 (1)
深 津 中	1	1	22	1	1		26	1		1	1			3	1	7	33
上 甲子園中	1	1	35	1	2	1	41		1		1			4	1	7	48
今 津 中	1	1	25	1	1		29		1		1			3	1	6	35
真 砂 中	1	1	30	1	1	1	35		1		1			4		6	41
鳴 尾 中	1	1	33	1	1	1	38		1			1		5	1	8	46
浜 甲子園中	1	1	19	1	1		23		1		1			3	1	6	29
鳴 尾 南 中	1	1	21	1	1		25			1	1			3		5	30
高 須 中	1	1	16	1	1		20	1		1	1			2	1	6	26
学 文 中	1	1	34	1	1	1	39		1			1		4	(1)	6 (1)	45 (1)
山 口 中	1	1	23	1	1		27		1		1			3	1	6	33
塩 瀬 中	1	1	37	1	2	1	43		1		1	1		4	1	8	51
計	19	19	588 (4)	24	27	11	688 (4)	3	15	4	16	2	3	72	13 (1)	128 (1)	816 (5)

ウ 義務教育学校

職名 校名	県費教職員							市費教職員							小計	合計	
	校長	教頭	教諭	養護教諭	事務職員	学校栄養職員 栄養教諭	小計	用務班長	用務員	会計年度任用 A員	介助員	調理員	会計年度任用 A員	調理員			学校教 育員
西宮浜義務(前)	1	1	12	1	1	1	17				1			2	1	4	21
西宮浜義務(後)		2	17	1	1		21		1		1			3	1	6	27
計	1	3	29	2	2	1	38	0	1	0	2	0	0	5	2	10	48

エ 特別支援学校

職名 校名	県費教職員							市費教職員							小計	合計				
	校長	教頭	教諭	養護教諭	事務職員	学校栄養職員 栄養教諭	小計	実習 助手	用務班長	用務員	会計年度任用 A員	介助員	介助 員	調理員			会計年度任用 A員	調理員	学校教 育員	小計
西 宮 支 援	1	2	47	2	3	1	56	2		1		5	24	1	1		2	1	37	93
計	1	2	47	2	3	1	56	2	0	1	0	5	24	1	1	0	2	1	37	93

オ 高等学校

職名 校名	教 育 職 員						職 員										小計	合計
	校長	教頭	教諭	養護教諭	実習助手	小計	事務長	係長	主幹	主任	用務班長	用務員	会計年度任用A員	作業員	学務教員	小計		
西宮高	1	2	57 (2)	2	3	65 (2)	1	1	1 (1)		1			3	1	8 (1)	73 (3)	
西宮東高	1	2	54	2	1	60	1	1	1		1			3	1	8	68	
計	2	4	111 (2)	4	4	125 (2)	2	2	2 (1)	0	2	0		6	2	16 (1)	141 (3)	

※ 「教諭」には、本定欠臨任を含む（代替臨任は含まない）。
カッコ内は再任用短時間勤務職員または嘱託職員数で外数。

カ 幼稚園

職名 園名	園長	教頭	教諭	養護教諭	園務員	計	職名						計
							園長	教頭	教諭	養護教諭	園務員	計	
浜脇幼稚園	1		2	1	1	5	南甲子園幼稚園	1	1	2	1	1	6
用海川幼稚園	1	1	2	1	1	6	浜甲子園幼稚園						
夙川幼稚園	1		2	1	1	5	高須西幼稚園	1	1	3	1	1	7
越木岩幼稚園	1		3	1	1	6	鳴尾東幼稚園						
大社幼稚園	1		4	1	1	7	鳴尾北幼稚園						
あおぞら幼稚園	1		3	1	1	6	小松幼稚園	1		2	1	1	5
上ヶ原幼稚園	1		2	1	1	5	山口幼稚園						
門戸幼稚園	1	1	3	1	1	7	名塩幼稚園	1	1	2	1	1	6
高木幼稚園	1		2	1	1	5	生瀬幼稚園						
瓦木幼稚園	1						計	13	5	32	13	13	76
春風幼稚園	1												
今津幼稚園	1												

※ 「園長」には、兼務園長を含む。「教諭」には、本定欠臨任を含む（代替臨任は含まない）。
カッコ内は再任用短時間勤務職員数で外数。

(5) 職員の研修（下記以外の研修厚生課実施研修については「研修概要」のとおり。）

ア 教育人事課・教育職員課 実施研修

区分	研修名	実施時期	受講者数	備考
市費学校職員	新任チーフ調理員研修	8月	4	テーマ「リーダーシップ研修」
	労務職対象研修	7月	524	テーマ「風通しの良い職場環境づくり」 欠席者に対してはオンライン研修を実施（8～11月）
	新任用務員研修	1・3月	5	テーマ「刈払機取扱作業安全衛生教育研修」
県費学校職員	新任管理職研修会	5・6・8月	35	5・6月 東館 研修室1 8月 第2庁舎 601・602会議室
教育人事課・教育職員課研修（計）		—	568	—

イ 派遣研修

派遣先・研修名	実施時期	受講者数	備考	
人権・同和問題研修	兵庫県人権・同和教育研究阪神地区大会	—	—	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
	兵庫県人権教育研究大会中央大会	9月	1	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンラインで実施
	全国人権・同和教育研究大会	11月	1	奈良市
派遣研修（計）		—	2	—

第2節 教育財政

1 教育費予算及び決算概要

(1) 令和4年度 教育費予算及び決算

(単位：円)

区 分	予 算 現 額	執 行 済 額	翌年度繰越額	不 用 額
教 育 総 務 費	3,295,655,000 (66,565,000)	3,139,473,785 (62,741,322)	0	156,181,215 (3,823,678)
小 学 校 費	9,068,525,000	8,159,961,029	361,941,000	546,622,971
中 学 校 費	3,432,041,000	2,957,879,763	212,700,000	261,461,237
特 別 支 援 学 校 費	425,199,000	386,557,862	5,657,000	32,984,138
高 等 学 校 費	2,232,767,000	2,158,057,366	5,400,000	69,309,634
幼 稚 園 費	784,307,000	750,497,227	0	33,809,773
社 会 教 育 費	545,963,000	515,271,777	5,819,000	24,872,223
保 健 体 育 費	4,324,622,000	4,101,028,852	54,193,000	169,400,148
教 育 費 計	24,109,079,000 (66,565,000)	22,168,727,661 (62,741,322)	645,710,000	1,294,641,339 (3,823,678)

※ カッコ内はこども支援局分で内数として計上している。

(2) 教育費年度別一般会計との比較 [最終予算及び決算額は継続費・繰越明許費・事故繰越しを含む]

(単位：円)

年度	当 初 予 算			最 終 予 算			決 算 額		
	A 一般会計	B 教育費	B/A (%)	A 一般会計	B 教育費	B/A (%)	A 一般会計	B 教育費	B/A (%)
30	178,056,028,000	20,702,854,000 (75,788,000)	11.6	181,362,365,000	21,703,787,000 (75,673,000)	12.0	172,675,344,292	19,633,643,942 (71,092,086)	11.4
元	184,073,481,000	23,420,921,000 (87,662,000)	12.7	186,471,014,560	25,751,898,000 (86,271,000)	13.8	175,091,366,252	21,731,859,754 (81,940,623)	12.4
2	193,080,562,000	24,412,744,000 (1,790,921,000)	12.6	249,548,974,000	26,946,622,000 (1,876,999,000)	10.8	235,208,367,307	24,064,451,483 (1,765,705,251)	10.2
3	193,856,204,000	21,791,443,000 (65,809,000)	11.2	222,450,640,775	21,647,874,275 (67,413,000)	9.7	204,934,200,482	19,928,440,801 (65,134,405)	9.7
4	195,828,360,000	23,493,075,000 (66,364,000)	12.0	215,884,547,000	24,109,079,000 (66,565,000)	11.2	200,591,167,420	22,168,727,661 (62,741,322)	11.1

※ カッコ内はこども支援局、産業文化局、市民局所管分で内数として計上している。

第 2 章 学 校 教 育

概 要

教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者を育成する普遍的な営みである。西宮市は、昭和 38 年の「文教住宅都市宣言」以来、教育に寄せる市民の熱い思いと教育の発展に尽くされた先人の努力に支えられながら、今日の教育環境を築き上げてきた歴史がある。このような教育に対する市民の期待と負託に応えるべく、「平和・人権・国際・環境教育」を要とし、学習者一人ひとりの可能性を開花させる創造的な営みが盛んになるよう、「夢はぐくむ教育のまち西宮」の推進に力を注いできた。

学校教育においては、学校・家庭・地域の緊密な連携のもと、総がかりで児童生徒一人ひとりの個性や特性を生かし育むとともに、集団生活を通して自他を尊重し、将来において社会的に自己実現ができるよう、「生きる力」の醸成に努めていかねばならない。そのために、子供たちの育ちや学びの連続性を踏まえた「西宮型小中一貫教育」の実施に向けた取組みをさらに進めるとともに、校園長のリーダーシップのもと、子供や地域の実情に応じた創意工夫ある教育活動を展開する、「自主・自律の学校」の創造を目指し、以下のような取組みを進めた。

令和 2 年度から続く新型コロナウイルス感染症は感染拡大期があり、教育活動に大きな影響を与え、学校現場に混乱を来した。

そのような中、「学びを止めない」という方針のもと、各市立学校において登校することができない児童生徒に対してオンラインを活用した学習支援の実施に取り組んだ。

また、令和 3 年度からは、各市立学校園の児童生徒及び教職員等における濃厚接触者の特定等業務について学校保健安全課の職員に保健所新型コロナウイルス感染症対策室の職を併任させた上で同対策室の分室を設置し、その対応に当たった。加えて濃厚接触者の特定等業務や、学校給食における新型コロナウイルス感染症による出席停止等に伴う食数管理等業務の一部を教育委員会事務局の全所属による協力体制のもと、その対応に当たった。

第 1 節 学 事

1 学籍等事務 (220202)

(1) 小学校新 1 年生の入学状況 (令和 4 年 4 月 9 日現在)

令和 4 年 4 月の小学校入学適齢児は平成 27 年 4 月 2 日から平成 28 年 4 月 1 日までの出生者で、住民基本台帳から抽出した日本人及び就学申請をした外国人から学齢簿を作成した。

小学校入学者数

学齢児童総数	市立小学校 入 学 者	私立小学校等 入 学 者	私 立 小 学 校 等 入 学 者 の 内 訳			
			私立小学校	国立小学校	特別支援学校	その他
4,368	4,212	156	106	3	11	36

※ 市立小学校には義務教育学校も含む。

(2) 中学校新1年生の入学状況（令和4年4月9日現在）

中学校新1年生については、小学校卒業者のうち市外転出者を除き、市立中学校又は私立中学校等に就学した。

中学校入学者数

学齢生徒総数	市立中学校入学者	私立中学校等入学者	私立中学校等入学者の内訳			
			私立中学校	国公立中学校	特別支援学校	その他
4,685	3,569	1,116	909	74	30	103

市立中学校に入学した者の内訳

市立小学校卒業者	3,519	市外転入者等	50
----------	-------	--------	----

※ 市立小・中学校には義務教育学校も含む。

(3) 市立小学校6年生の卒業状況（令和5年3月31日現在）

卒業生総数	進 学 先				
	市立中	私立中	国公立中	特別支援学校	市外転出等
4,466	3,540	829	49	7	41

※ 市立中学校には義務教育学校も含む。

(4) 児童生徒の転校等異動状況

令和4年5月1日から令和5年5月1日までの1年間における市立小・中学校児童生徒等異動状況は次のとおりである。

区分	R4/5/1 児童生徒数	異 動 内 容				R5/5/1 児童生徒数
		新入学	転入学	転退学	卒業	
小	(626)	(152)	(80)	(39)	(96)	(723)
	26,060	4,252	808	791	4,466	25,863
中	(238)	(93)	(10)	(12)	(71)	(258)
	11,044	3,601	116	124	3,749	10,888

※ カッコ内は特別支援学級児童生徒で内数。

※ 市立小・中学校には義務教育学校も含む。

(5) 遠距離通学費等補助金

遠距離通学等に係る経費の一部を補助し、保護者の負担を軽減するため、次のとおり遠距離通学費等補助金を給付した。

校種	給付人員	給付額（円）
小学校	211	2,399,416
中学校	311	3,836,776

2 奨学事業 (220502)

(1) 奨学金の給付及び貸付

学習能力を有するにもかかわらず、経済的な理由により修学困難な者に対して、次のとおり奨学金の給付及び貸付を行った。

名 称	校 種	区 分	給付人員	総 額 (円)
西宮市教育委員会奨学金	高等学校 (給付)※	国公立	227	14,360,500
		私 立	330	30,459,650
		計	557	44,820,150
	大学 (貸付)	国公立	4	480,000
		私 立	43	7,056,000
		計	47	7,536,000
藤 田 奨 学 金	大学 (貸付)	国公立	0	0
		私 立	0	0
		計	0	0
廣 藤 奨 学 金	大学 (給付)	国公立	2	216,000
		私 立	1	144,000
		計	3	360,000
高 橋 奨 学 金	大学 (給付)	入学準備金	1	400,000
		奨 学 金	11	1,100,000
		計	12	1,500,000
オンライン学習通信費給付金	高等学校 (給付)※	国公立	227	3,046,360
		私 立	231	3,115,680
		計	458	6,162,040

※ 国公立高校から私立高校への転校者 5 人有り。

(2) 在日外国人学校就学助成

市内在住で、小学校・中学校の学齢の外国人学校に在学する児童生徒をもつ保護者に就学助成を行った。

区 分	給付人員	給 付 額 (円)
学 齢 児 童	10	850,000
学 齢 生 徒	5	425,000
計	15	1,275,000

3 就学奨励助成事業 (220503)

(1) 就学奨励金の給付

ア 通常学級・特別支援学級就学奨励費

義務教育課程において、経済的な理由により就学困難な児童生徒の保護者に、就学奨励の目的をもって次のとおり就学奨励金を給付した。また、特別支援学級在籍児童生徒の保護者に対して、その就学に係る経済的負担を軽減するため、次の就学奨励金を給付した。

費目	区分 校種	1人当たり給付額 (円)	通常学級就学奨励費		特別支援学級就学奨励費	
			給付人員	給付額 (円)	給付人員	給付額 (円)
給食費	小	1食 250× 実施回数分	2,395	102,207,768	399	17,089,556
	中	1食 297× 実施回数分	1,384	65,937,637	154	7,276,250
学用品費	小	1年 11,630 2～6年 13,900 特別支援学級 11,640	2,398	31,610,413	406	4,647,270
	中	1年 22,730 2・3年 25,000 特別支援学級 22,740	1,410	33,469,619	157	3,507,645
修学旅行費	小	実費	467	10,554,045	62	1,348,573
	中	実費	527	25,960,835	38	1,865,621
校外活動費	小	実費	1,790	4,053,794	299	692,250
	中	実費	925	2,320,269	119	361,195
泊を伴う校外活動費	小	実費	0	0	0	0
	中	実費	0	0	0	0
新入学用品費	小	51,060	84	4,289,040	53	2,706,180
	中	60,000	37	2,220,000	8	480,000
卒業諸費	小	11,000	496	5,456,000	67	737,000
	中	9,200	567	5,216,400	44	404,800
通学費	小	実費相当	1	32,550	31	817,784
	中	実費相当	1	175,500	22	1,221,368
転入学用品費	中	20,500	8	164,000	1	20,500
		給付総額		293,667,870		43,175,992

※1 準要保護児童生徒数 通常学級 小 2,405人 中 1,412人
特別支援学級 小 416人 中 158人
要保護児童生徒数 小 343人 中 197人

※2 この表と別に、新小学1年生及び新中学1年生に対し、新入学用品費を給付した。
(小学校 286人 14,603,160円、中学校 471人 28,260,000円)

※3 小・中学校には義務教育学校も含む。

イ 特別支援学校就学奨励費

西宮支援学校在学の就学奨励生 29人に対して、県支給額と市支給額との差額として総額 741,634円を給付した。また、トレーニングウェアを 43人に対して現物給付(39,210円)した。

(2) 生活支援特別給付金の給付

「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分)」を活用し、生活支援特別給付金を給付した。(4,737人 47,370,000円)

4 入園関係事業 (210213)

(1) 幼稚園児の就園状況

令和4年5月の幼稚園在園児は、平成28年4月2日から平成30年4月1日までの出生者で、4歳児176人、5歳児259人であった。

(2) 幼稚園児の募集

令和5年度の入園児の募集を次のとおり行った。

ア 応募資格

いずれも西宮市に居住し住民登録をしている者。

4歳児(平成30年4月2日から平成31年4月1日までの間に出生した幼児)

5歳児(平成29年4月2日から平成30年4月1日までの間に出生した幼児)

イ 修業年限

2年保育(5歳児は1年保育)

ウ 募集期間

令和4年10月3日(月)～6日(木)の4日間。

エ 入園願書の交付

令和4年9月1日(木)から各園で交付。

オ 選考方法

市立幼稚園13園のうち、4歳児・5歳児について、定員内であったため全員の入園を決定した。

カ 募集状況

幼稚園名	5歳児		4歳児		幼稚園名	5歳児		4歳児	
	学級	定員	学級	定員		学級	定員	学級	定員
浜脇	2	70	1	30	今津*	-	-	-	-
用海*	-	-	-	-	南甲子園	1	35	1	30
夙川	2	70	1	30	浜甲子園*	-	-	-	-
越木岩	2	70	1	30	高須西*	-	-	-	-
大社	2	70	1	30	鳴尾東	2	70	1	30
付属あおぞら	2	70	1	30	鳴尾北*	-	-	-	-
上ヶ原	2	70	1	30	小松*	-	-	-	-
門戸	2	70	1	30	山口	2	70	1	30
高木	2	70	1	30	名塩*	-	-	-	-
瓦木*	-	-	-	-	生瀬	1	35	1	30
春風	2	70	1	30	合計	24	840	13	390

※ 浜甲子園幼稚園は、平成25年度から休園。今津幼稚園は、平成29年度から休園。
鳴尾北幼稚園は、平成30年度から休園。高須西・小松・名塩幼稚園は、令和元年度から休園。
用海・瓦木幼稚園は、令和2年度から休園。

(3) 実費徴収分補足給付等

低所得世帯の子供においても円滑に教育を受けることができるよう、生活保護受給世帯を対象に、幼

稚園において実費で支払った経費(副食材料費、その他教材費等)の補助を行った。対象者7人に対し、計117千円の給付を行った。

また、市民税所得割合算額が77,101円未満の世帯等の104人に対し、計251千円の副食費免除を行った。

5 学校改革事務 (220101)

(1) 通学路安全警備業務委託

西宮市立苦楽園小学校、苦楽園中学校、平木小学校の児童生徒の登下校時における通学の安全を図るため通学路の警備業務を委託した。

(2) 通学路緊急合同点検後の進捗管理

平成24年に全国で登下校中の児童生徒が死傷する事故が相次いで発生したことから、同年7～8月にかけて各小学校の通学路において関係機関と連携して緊急合同点検を実施し、平成26年3月には、「西宮市通学路交通安全プログラム」を策定した。

その後の継続的な通学路の安全を確保するために、令和4年度は8小学校(安井小・瓦木小・今津小・用海小・名塩小・瓦林小・段上西小・鳴尾北小)の46箇所において点検を行った。その後168件の対策が可能となり158件の対策は既に実施、10件については今後対策予定である。

《R4年度通学路合同点検の対策数》

	道路管理者による対策			警察による 対策	市による 対策	市教委・学校 による対策	計
	市道管理者	県道管理者	国道管理者				
対策済	54	3	3	29	23	46	158
対策予定	5	1	0	3	0	1	10
計	59	4	3	32	23	47	168

(3) 市内通学路注意喚起看板等掲示物の設置及び更新

学校や地域の要望を受け、通学路の安全確保のため、新たに2枚の注意喚起サイン、44枚の注意喚起「文マーク」を設置した。

(4) 西宮市立総合教育センター附属西宮浜義務教育学校の就学に係る説明会等

西宮浜義務教育学校の特認校制度を利用する児童生徒の募集に関して、様々な媒体を活用した広報活動、また8月に市内4箇所で学校説明会を、10月に就学説明会を開催した。そして、西宮浜義務教育学校の特認校制度利用者のうち、自家用車で送迎児童、及び東西校舎を移動する児童の安全確保のため、警備業務の委託を行った。

(5) 連携公立幼稚園事業の実施

保育所等待機児童対策として、1～3歳児の子供を保育する小規模保育施設を開設し、あわせて市立幼稚園2園において、新たに小規模保育施設の卒園児を受け入れるための「就労家庭枠」を設け、小規模保育施設の卒園児に対して預かり保育(長時間保育)を実施した。

第2節 学校教育

1 指導助言関係事務 (220206)

(1) 「令和4年度(2022年度)学校教育推進の方向」

各年度、西宮教育推進のための基本方針を策定し、学校教育・社会教育をあわせて「西宮教育推進の方向」としてまとめ、各学校園等に配布し、その趣旨の徹底を図っている。

学校教育については、「学校教育推進の方向」として学校教育推進のための指標、具体的方針及び施策をまとめ、全教職員の手引きとして配布し、西宮教育推進の徹底を期した。「学校教育推進の指標」は次のとおりである。

- | | |
|-----------------|------------------------|
| 1 子供の育ちのためにつながる | (1) 家庭・地域とつながる |
| | (2) 校内や校種間につながる |
| 2 「生きる力」をはぐくむ | (1) これからの社会で求められる資質・能力 |
| | (2) 「確かな学力」をはぐくむ |
| | (3) 「豊かな心」をはぐくむ |
| | (4) 「健やかな体」をはぐくむ |
| 3 子供の育ちをささえる | (1) 学びの質の向上に取り組む |
| | (2) 教育環境の整備 |

「学校教育推進の重点」にある「評価項目」の一層の活用を図るために、「にしのみや 学校評価ガイドライン」を作成している。各評価項目の市全体の結果は、市HPで広く公表し、自校と市全体の評価結果を知ること、学校改善に役立てることができるようにした。また、市教育委員会として、学校に対する支援や条件整備等の参考にできるよう配慮した。

(2) 学校園の訪問

各学校園を担当する指導主事を派遣し、各学校園の経営・研究・実践等に関する指導・助言の充実に努めた。

(3) 現職教育

教師としての専門性を高め、その資質・指導力の向上を図るために、次のような研修会を実施した。

ア 管理職研修会

回	月日	場 所	研 修 内 容	講 師 等
1	4/12	職員会館 3階大ホール	令和4年度(2022年度)西宮教育推進の方向について	市長、教育長、 教育次長、教 育委員会参与、 各部長
2	8/18	市役所第2庁舎 601・602号室	講話「新任管理職に期待すること」	教育長

イ 教務主任会《小・中・義務教育学校・特別支援学校》

回	月日	場 所	研 修 内 容	講 師 等
1	4/25	オンライン	「教務主任の役割」「教育課程について」 「指導要録について」	指導主事

ウ 研究担当者会《小・中・特別支援学校》

回	月日	場 所	研 修 内 容	講師等
1	5/17	総合教育センター	実践発表「校内研究の活性化について」	研究グループ 「校内研究」代表

エ 進路担当者会《中学校・義務教育学校（後期課程）》

回	月日	場 所	研 修 内 容	講師等
1	10/4	若竹生活文化会館 (第2・3集会室)	奨学金制度・入学者選抜に関する基本方針と日程	指導主事

オ 教科研究委員会

回	月日	場 所	研 修 内 容	講師等
1	6/8	紙面開催	教科研究委員の業務について	

(4) 教科書採択

ア 市立小・中学校

「西宮市立学校教科用図書採択に関する基本方針」等に定める採択方針に基づき、令和5年度に使用する小・中・義務教育学校教科用図書については、下表の教科書とする。(小学校・中学校・義務教育学校は令和4年度と同じ。)

令和5年度 使用教科書

《小学校・義務教育学校前期課程》

教科	教科書名	出版社
国語	国語	光村図書出版
書写	新しい書写	東京書籍
社会	小学社会	日本文教出版
地図	楽しく学ぶ小学生の地図帳	帝国書院
算数	わくわく算数	啓林館
理科	わくわく理科	啓林館
生活	新しい生活	東京書籍
音楽	小学音楽 音楽のおくりもの	教育出版
図工	図画工作	日本文教出版
家庭	新しい家庭	東京書籍
保健	みんなの保健	学研教育みらい
英語	CROWN Jr.	三省堂
道徳	道徳 きみがいちばんひかるとき	光村図書出版

《中学校・義務教育学校後期課程》

教科	教科書名	出版社
国語	国語	光村図書出版
書写	現代の書写	三省堂
社会	新しい社会 地理	東京書籍
〃	新しい社会 歴史	東京書籍
〃	新しい社会 公民	東京書籍
地図	中学校社会科地図	帝国書院
数学	未来へ広がる数学	啓林館
理科	未来へひろがるサイエンス	啓林館
音楽	中学生の音楽	教育芸術社
〃	中学生の器楽	教育芸術社
美術	美術	開隆堂出版
保体	中学保健体育	学研教育みらい
技家	技術・家庭（技術分野） テクノロジーに希望をのせて	開隆堂出版
〃	技術・家庭（家庭分野） 生活の土台 自立と共生	開隆堂出版
英語	NEW CROWN English Series	三省堂
道徳	新・中学生の道徳 明日への扉	学研教育みらい

イ 特別支援学級

児童生徒一人ひとりの実態に応じ、より適した教科書を使えるようにするため、検定本の下学年本や文部科学省著作本、及び学校教育法附則第9条の規定による教科用図書（一般図書）の中から慎重かつ公正に選定し採択した。

ウ 市立高等学校及び、市立特別支援学校

「西宮市立学校教科用図書の採択に関する基本方針」等に定める採択方針に基づき、自校の教育課程に最も適した教科用図書を慎重かつ公正に選定し採択した。

2 基礎学力向上事業（220203）

(1) 学びの指導員事業

小・中・義務教育・特別支援学校61校に4月当初、1回4時間を基本として年間240時間（60回）学びの指導員を配置した。ICT機器を活用した授業の支援、学習課題の作成、各教科等学習指導補助、放課後学習補助、別室における個別指導の補助等を実施。一人ひとりへのきめ細かな学習支援を行い、基礎学力の向上と子供の自主的な学習をサポートした。

(2) ESD（持続発展教育）の推進

ア 自然体験学習事業（中学校及び義務教育学校後期課程）の推進

例年、豊かな自然とのふれあいの中で自主・共同生活を通じて心身ともに健全で調和の取れた発達を図ることを目的としていたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により実施する学校はなかった。

イ 自然体験活動や防災教育等の実施

ESDの推進を目的として、自然・社会・文化に係る体験活動や防災教育の推進に係る体験活動を目的に20校中5校で実施し、自然体験等の活動をした。

利用施設等：グリーンア、六甲山牧場、しあわせの村、甲山森林公園、ニフレル

3 学校体育推進事業（220602）

運動や健康・安全についての理解と運動の経験や実践を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるとともに健康の保持増進や体力の向上を図ることに取り組んだ。

そのために、学校教育活動全体の中に体育・スポーツ活動を位置付け、体を動かすことの楽しさや心地よさを味わわせるとともに、自己の体力の向上を図り、仲間とともに運動することの「楽しさ」や「喜び」、そして、課題を克服したときの「達成感」などを体験させることを大切にした。

あわせて家庭、地域との連携を図り、生涯にわたって体育・スポーツに親しみ、健康・安全で豊かな生活を営むための基礎づくり・習慣づくりに取り組み、推進した。

(1) 体育事業等の推進

ア 研修事業の推進

(ア) 体育担当者研修会の開催

回	実施日	研修会	内容	講師
1	4/13	体育担当者研修会 (小・義・特)	推進の方向について 年間指導計画の作成について	指導主事

回	実施日	研修会	内容	講師
2	4/22	体育担当者研修会 (中・義・高)	推進の方向について 年間指導計画の作成について	指導主事
3	8/25	保健体育科教員経営 研修会 (中・義)	令和版 楽しい体育を考える	文教大学教授 小林 稔氏

(イ) 各種実技研修会の開催

配信期間	研修会	内容	講師
4/18	保健体育科教員実技 研修会 (小・義・特)	新体力テストの正しい準備運 動と実施方法について	美作大学准教授 津田 幸保 氏
5/16	保健体育科教員実技 研修会 (中・義・高)	柔道における適切な学習評価 について	日本柔道連盟参事 田中 裕之 氏
6/8	保健体育科教員実技 研修会 (中・義)	組立体操の安全な指導につい て	公立中学校教諭 2人
6/22	地区別体育実技研修 会 (小・義・特)	組立体操につながる運動 体づくり運動 ボール運動等	公立小学校教員14人
8/4	保健体育科教員実技 研修会 (中・義・高)	ダンス指導基礎研修会	日本ストリートダン ススタジオ協会公認 インストラクター
8/23	体育担当者会 (小・義・特)	ゴール型ゲーム・サッカーの指 導について	ヴィッセル神戸チー フスクールコーチ 金 正旭 氏

イ 特色ある体力づくりの推進

児童生徒新体力テスト調査のまとめ

ウ 体育委託事業の実施・各種大会等への支援

(ア) 連合体育大会の開催

- a 第 61 回小学校連合体育大会 (11/8) 阪神甲子園球場
b 第 66 回中学校連合体育大会 (11/10) 阪神甲子園球場

(イ) 小学校スポーツ交流会の開催

第 49 回小学生陸上競技大会 (6/4)

(ウ) 中学校・高等学校各種大会への支援

- a 中学校総合体育大会
第 42 回西宮 (6/25～) ・ 第 66 回阪神 (7/16～)
第 66 回兵庫県 (7/21～) ・ 第 71 回近畿 (8/5～) ・ 令和 4 年度全国 (8/17～)
- b 中学校新人大会 (9/3～)
- c 高等学校総合体育大会
令和 4 年度全国 (7/23～)
- d 第 75 回西宮市民体育大会 (4/16～)

(エ) 部活動推進事業の実施

(オ) 西宮市学校体育連盟に対する助成

- a 研究授業 陸上運動「ハードル走」(11/15)
授業者：高須 洋平(段上西小学校教諭)
- b 実技研修会 「リズムを使った体育指導」(1/27)
講師：津田 幸保(神戸親和大学客員教授)
- c 優秀監督表彰 22人

エ 部活動指導員の配置

中学校及び義務教育学校 10 校に部活動指導員(会計年度任用職員)を配置した。

(2) 運動能力調査

ア 調査実態(令和4年12月集約)

区 分	学校数	在籍児童・生徒数	調査人員	実施率(%)
小学校・義務教育学校前期課程	41	26,534	22,036	83.0
中学校・義務教育学校後期課程	20	10,847	9,096	83.9
高等学校	2	1,793	1,701	94.9

イ 調査結果の概要

令和4年度の県平均、西宮平均の比較

- (ア) 兵庫県平均を下回る項目(全96項目中)は、男子は49項目、女子は48項目であった。
- (イ) 小学校では、48項目中、男子35項目、女子40項目で下回っている。
- (ウ) 中学校では、男女ともに上体起こし、長座体前屈、持久走で、3学年が県の平均を上回っている。
- (エ) 高校では、男女ともに上体起こし、長座体前屈、立ち幅跳びで、3学年が県の平均を上回っている。

(3) 部活動実態調査(所属生徒数)

ア 中学校(令和4年5月集約)

性別	学年	在籍数	所属数		所属の割合(%)	
			運動部	文化部	運動部	文化部
男	1	1,824	1,254	267	68.8	14.6
	2	1,921	1,390	262	72.4	13.6
	3	1,929	1,386	235	71.9	12.2
	小計	5,674	4,794		84.5	
女	1	1,738	950	703	54.7	40.4
	2	1,806	950	727	52.6	40.3
	3	1,813	948	640	52.3	35.3
	小計	5,357	4,918		91.8	
合計		11,031	9,712		88.0	

イ 高等学校（令和4年5月集約）

性別	学年	在籍数	所属数		所属の割合（％）	
			運動部	文化部	運動部	文化部
男	1	291	224	54	77.0	18.6
	2	309	258	42	83.5	13.6
	3	310	224	61	72.3	19.7
	小計	910	863		94.8	
女	1	311	215	112	69.1	36.0
	2	288	167	115	58.0	39.9
	3	322	209	118	64.9	36.6
	小計	921	936		101.6	
合計		1,831	1,799		98.3	

※ 所属数については延べ数。

4 小学校体験活動事業（220603）

（1）自然学校推進事業（小学校及び義務教育学校前期課程）の推進

学習の場を教室から豊かな自然の中へ移し、人や自然とのふれあいを通して、心身ともに健康な児童の育成を図ることを目的に、全小学校及び義務教育学校前期課程（41校）で実施した。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、市内の5年生4,436人が、5日間の日程のうち、2泊3日の宿泊と、残り2日間は1日単位の日帰りで実施した。（例年は4泊5日で実施）

利用施設（宿泊）：西宮市立山東自然の家 37校、丹波少年自然の家 3校、南但馬自然学校 1校

利用施設（日帰り）：神戸市立自然の家 13校、兵庫県立海洋体育館 8校
人と自然の博物館 5校、丹波少年自然の家 3校
御前浜 3校、陶芸やまの 3校、六甲山アスレチックパーク 3校
甲山森林公園 2校、西宮市立甲山自然の家 2校、甲山 2校
明石市立天文科学館 1校、三田市ガラス工芸館 1校
夙川近辺 1校、ひょうご環境体験館 1校、陶の郷 1校
有馬富士公園 1校、嬉野台生涯教育センター 1校
甲山キャンプ場 1校、須磨離宮公園 1校
尼崎の森中央緑地 1校、淡路島平岡農園 1校

（2）環境体験事業（小学校）の推進

人間形成の基礎が培われる時期に、生命の営みやつながり、命の大切さを学ぶため、自然に触れ合う体験型環境学習を、全小学校及び義務教育学校前期課程（41校）で年間3回以上の計画を立て、実施した。市内の3年生4,376人が環境学習を行った。

5 学校人権教育事業 (220604)

(1) 人権教育研修の開催

ア 人権教育担当者会 (年2回開催)

- 第1回 …… 担当者研修「沈黙のヤングケアラー ～その笑顔の内側に～」
 講師：尼崎市教育委員会事務局 学校教育部 こども教育支援課
 スクールソーシャルワーカー 黒光 さおり 氏
- 第2回 …… 担当者研修「B型肝炎患者の声を通して考える人権
 ～B型肝炎の正しい知識と患者の現状について～」
 講師：全国B型肝炎訴訟関西(大阪)原告団・弁護団
 患者 小志田 雅弘 氏
 弁護士 牧 亮太 氏

イ 人権教育地区別研修会 (年4回開催)

7地区に分かれて開催。地区ごとに担当者会や公開保育・授業、講演会を実施。

地区	幼稚園	小学校	中学校	特・高・義
浜脇	浜脇・南甲子園	浜脇・香櫨園・津門・今津・用海・南甲子園	浜脇・今津・真砂	西宮浜
大社	夙川・越木岩・大社	安井・夙川・北夙川・苦楽園・大社・神原・甲陽園	大社・苦楽園	
広田	付属あおぞら・上ヶ原	広田・平木・上ヶ原南・瓦木・深津	上ヶ原・平木・深津	西宮
甲東	門戸・高木	甲東・段上・段上西・樋ノ口・高木・高木北・瓦林・上ヶ原	甲陵・甲武・瓦木	
上甲	春風	上甲子園・春風・鳴尾北・小松	上甲子園・学文	西宮支援
鳴尾	鳴尾東	鳴尾・甲子園浜・高須・高須西・鳴尾東	鳴尾・浜甲子園・鳴尾南・高須	西宮東
北	山口・生瀬	山口・北六甲台・名塩・東山台・生瀬	山口・塩瀬	
計	13	40	19	4

(2) 人権教育推進計画・実践報告の作成

兵庫県人権教育基本方針の4つの内容に沿って推進計画を立てた。年度末には各学校園で実施状況を振り返り、取組み及び成果と課題をまとめた。

(3) 人権教育振興のための施策の実施

ア 人権教育指導員の配置

7地区に各1名の人権教育指導員を委嘱し、地区別研修会の企画・運営、指導助言に当たった。

イ 「人権教育地区別研修会のあゆみ」の作成

人権教育充実のため、各地区別人権教育研修会の実施状況、研修内容等を取りまとめて製本し、研修成果の積み上げを図った。

ウ 多様な人権課題への対応 (児童生徒支援教員配置校)

児童生徒一人ひとりの状況を踏まえた、学習指導・生徒指導・進路指導の充実に関わる支援に努めた。また年3回、児童生徒支援教員の研修を開催し、意見交流、実践交流を通して支援の充実を図った。

(4) 啓発活動の推進

学校園・各種団体への指導助言

- ・ 学校園の人権教育・人権学習への指導助言
- ・ 保護者や地域啓発のための指導助言
- ・ 人権研修での講話・指導助言
- ・ 地域学習講座、西同協地区別委員懇談会等の講話（新型コロナウイルス感染拡大防止のため、地域学習講座は回数を減らして実施）

(5) 日本語指導を必要とする子供たちへの支援

ア 生活・学習相談員の配置（総配置時間 4,422 時間 ※教育相談への配置を含む）

配置校	配置人数	配置時間	対象児童生徒数	言語
浜脇小	1	2	1	中国語
安井小	1	46	1	英語
甲陽園小	1	56	1	イタリア語
広田小	1	164	1	英語・ネパール語
平木小	1	1	1	中国語
上ヶ原小	1	127	1	英語語
〃	1	75	1	英語
段上西小	1	106	1	英語
深津小	1	144	1	中国語
今津小	1	204	1	英語・ネパール語
南甲子園小	1	24	1	英語
高須小	1	2	1	ベトナム語
高須西小	1	392	5	中国語
〃	1	410	5	中国語
〃	1	356	3	スペイン語
〃	1	52	2	ベトナム語
〃	1	280	1	ポルトガル語
〃	1	140	1	スペイン語
〃	1	328	3	タガログ語
〃	1	62	2	ベトナム語
鳴尾東小	1	20	1	中国語
鳴尾北小	1	228	1	英語
小松小	1	2	1	中国語
山口小	1	16	1	中国語
浜脇中	1	144	1	ネパール語
苦楽園中	1	56	1	英語
〃	1	80	1	英語
〃	1	24	1	英語
平木中	1	6	1	中国語
深津中	1	118	1	英語・ネパール語
鳴尾南中	1	203	1	中国語
高須中	1	230	1	スペイン語
〃	1	98	1	スペイン語

配置校	配置人数	配置時間	対象児童生徒数	言語
塩瀬中	1	50	1	英語
春風幼	1	176	1	英語

イ 日本語教室開設 13校（実施延べ回数 477回）

参加者（日本語指導が必要な児童生徒）：小学校 15人、中学校 7人

開設場所：高須西小学校、山口小学校、瓦木小学校、安井小学校、苦楽園小学校、甲子園浜小学校、鳴尾東小学校、浜脇小学校、浜脇中学校、高須中学校、鳴尾南中学校、深津中学校、真砂中学校

各校に教室を開設して、日本語指導を必要とする帰国・外国人児童生徒を対象に、個に応じた日本語指導を毎週 1 回実施（指導者：西宮日本語ボランティアの会）

ウ 「西宮の国際教育」発行

エ 体験入学の受入 18校 42人

オ 日本語指導を必要とする児童生徒等の実態把握と調査・研究及び日常の電話等による相談活動

6 国際教育事業（220608）

(1) 国際教育の推進

本市の国際教育は、「国際社会の一員として自己を確立し、主体的に行動できる子供の育成」を目指している。国際教育担当者会・研修会の開催や、他の事業を通して国際教育の推進に取り組んでいる。令和 4 年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、担当者会・研修会を令和 3 年度と同様にオンデマンド型で実施した。

(2) 外国語教育の充実と外国人外国語指導助手の活用

ア 「中学生英語ワークショップ」の実施

当該事業は市内公立中学校 2 年生を対象をしぼり、令和元年度までは夏季休業中の 5 日間、総合教育センターで英語漬けの集中講座を行っていた。令和 2 年度、3 年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止していたが、令和 4 年度は期間を 3 日間に縮小して実施した。招聘外国人英語指導助手 2 人と派遣外国人英語指導助手数人、研究グループ「英語・外国語活動」研究員の英語科教員が講師となり、ティームティーチングや外国人英語指導助手を中心とした個別指導等により内容の充実を図ってきた。また、研究グループ「英語・外国語活動」研究員の小学校教員にもサポート役として参加を広げ、小中連携につなげてきた。

イ 英語教育の充実

英語教育充実のため市内 19 中学校、義務教育学校 1 校と市立高等学校 2 校に外国人英語指導助手を配置し、英語による実践的コミュニケーション能力の育成を目指した。

(ア) 招聘外国人英語指導助手 2人（ワシントン州立大学、姉妹都市スポークン市から派遣）

義務教育学校配置 1人

中学校配置 1人

(イ) 日本在住外国人英語指導助手 2人

高等学校配置 2人

(ウ) 業者派遣外国人英語指導助手 16人

小学校配置 7人

中学校配置 8人

高等学校配置 1人

ウ 小学校外国語活動の推進

全小学校に外国人英語指導助手を配置した。また、令和3年度より配置期間をこれまでの前期・後期の配置から2箇月ごとの通年配置に変更し、教員の授業及び子供たちの学習を継続的にサポートできるようにした。

エ 中国語教育の推進

市立西宮高等学校において選択授業として中国語講座を開設し、外国語教育の選択の幅を広げている。

外国人中国語指導教員 1人

(3) ワシントン州立大学（WSU）教育学部との教育交流

ア WSU語学講座受講のため教員派遣

このプログラムの目的は、ワシントン州立大学で開催される語学研修講座等の受講や教科等の研修により、語学力の向上、英語教育の推進に寄与することである。近年は小学校教諭1人を派遣し、教科指導に関するテーマに基づいて個々の研修を深めるとともに、現地の公立学校を訪問し友好交流及び現地教育事情を視察することで異文化交流を深めてきたが、令和2年度以降は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、派遣を中止している。

イ WSU教育交流セミナー

このセミナーの目的は、米国と日本という教育制度や社会的背景が異なるが、同じ教育に携わる者としてより良い教育についての意見交流をすることである。3年ごとに米国と日本で交互開催となっており、令和3年度に米国で開催予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催中止となり、翌年度に延期したが、令和4年度も同様の理由で開催中止となった。

(4) 国際交流活動

ア 生徒の海外派遣

例年、夏季休業中に実施している中学生米国スポークン市生活体験派遣事業は、YMCAのキャンプ参加とホームステイ体験を主眼としており、各中学校から3年生の代表を1人、総計20人を派遣していたが、令和2年度以降は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、派遣を中止している。

また、例年行っているニュージーランドでの市立高等学校海外語学研修についても、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、派遣を中止している。

イ 姉妹校交流の推進

現在小学校10校、中学校8校、高等学校2校、義務教育学校1校が米国ワシントン州スポークン市及びプルマン市の学校と、小学校1校、中学校2校が中国紹興市及び韓国ソウル市の学校と姉妹（友好）校提携を結んでいる。提携している小学校の中には、担当教員を中心に児童作品の交換等の交流を行っている学校がある。また、小学校5、6年生の外国語科の授業に位置付けて交流を行っている学校もある。

7 トライやる・ウィーク推進事業 (220606)

豊かな感性や創造性などを自ら高め、自分なりの生き方を見つけたり、共に生きる心や感謝の心を育んだり、自立性を高めるなど「生きる力」を育むことを目指し、中学2年生が地域や自然の中でボランティアの支援を受けながら様々な体験活動を実施した。

実施期間は、原則として1週間の実施となった。

(1) 実施校

西宮市立の全中学校19校と義務教育学校1校、特別支援学校1校

(2) 実施状況

参加生徒数	班の数(延べ)	活動場所の数	指導ボランティア(延べ)
3,566	1,086	953	1,139

(3) 活動内容

No.	学校名	実施時期	実施内容
1	浜脇中	11/28(月)～ 12/2(金)	①2グループに分かれて事業所での体験活動(2日) ②2グループに分かれて、社会福祉協議会の方を講師として招き、体験活動や地域共生について考える(1日) ③ジュニアエキスポ(1日) ④事前・事後の活動等(1日)
2	大社中	5/23(月)～ 5/27(金)	3グループに分かれて ①事業所での体験活動(1日) ②地域の方々と福祉体験(ゲームなど)(1日) ③西宮市調べ(3日)
3	苦楽園中	5/23(月)～ 5/27(金)	①2グループに分かれて事業所での体験活動(2日) ②2グループに分かれて地域の美術館・博物館・研究所を見学、学芸員によるワークショップ(1日) ③2グループに分かれて病院等へのプレゼント制作(1日) ④まとめ、お礼の手紙の作成等(1日)
4	上ヶ原中	12/5(月)～ 12/9(金)	事業所での体験活動(5日間)
5	甲陵中	10/24(月)～ 10/28(金)	①2グループに分かれての事業所での体験活動(2日) ②発表会に向けての取組み(3日)
6	平木中	6/27(月)～ 7/1(金)	①事業所での体験活動(3日) ②福祉講話実習(2日)
7	甲武中	11/28(月)～ 12/2(金)	事業所での体験活動(5日) ※事業所が定休日の場合は学校で地域の方を招いての講座を設定。
8	瓦木中	5/23(月)～ 5/27(金)	事業所での体験活動(5日) ※事業所の定休日等により日数は異なる。 青愛協やPTAとともに清掃活動等したり、地域の演奏家を講師として招き、打楽器体験をしたりする。
9	深津中	10/17(月)～ 10/21(金)	事業所での体験活動(5日)
10	上甲子園中	9/5(月)～ 9/9(金)	事業所での体験活動(5日)
11	今津中	5/30(月)～ 6/3(金)	①校内での体験を伴う講演会 (講師としてさくらFM、赤ちゃん先生)(1日) ②2グループに分かれての事業所での体験活動(2日) ③事業所についてのポスターや広告作成等の広報活動や調べ学習(2日)
12	真砂中	6/20(月)～ 6/24(金)	①事業所での体験活動(4日間 月・火・木・金) ※事業所定休日の活動として、学校メニューを設定。 家具職人を招いての椅子づくりやキャビンアテンダントによるマナー講座等(数名の生徒が対象) ②認知症サポーター養成講座(水AM) 中間報告会(水PM)

No.	学校名	実施時期	実施内容
13	鳴尾中	5/23 (月) ~ 5/27 (金)	①2 グループに分かれての事業所での体験活動 (1 日) ②2 グループに分かれての事前・事後指導 (1 日) ③出発式や学年全体でのまとめの活動 (2 日) ④宮っ子の編集委員から記事の書き方を教わり、記事を作成する活動 (1 日)
14	浜甲子園中	11/18 (金) ~ 11/25 (金)	①事業所での体験活動 (4 日) ②事前指導等 (1 日)
15	鳴尾南中	11/28 (月) ~ 12/2 (金)	事業所での体験活動 (5 日) ※時間制限のある事業所も存在するので、自治会の方を講師として 10 講座開設 (掃除、鳴尾の歴史等)
16	高須中	5/16 (月) ~ 5/20 (金)	事業所での体験活動 (5 日)
17	学文中	10/24 (月) ~ 10/28 (金)	①未来塾 (1 日) (武庫川女子大学による職業人の講話・ワークショップなど) ②事業所での体験活動 (1 日) ③地域学習「トライやる・クエスト」(3 日) クラスごとに地域巡り、キャラクターづくり、ディグロ、マップ作り、地域調べなど内容を計画して行う。
18	山口中	5/23 (月) ~ 5/27 (金)	2 グループに分かれて ①事業所での体験活動 (2 日) ②グループ別地域探訪 (1 日) ③防災学習 (1 日) ④まとめの日 (1 日)
19	塩瀬中	5/16 (月) ~ 5/20 (金)	①2 グループに分けて事業所での体験活動 (1 日) ②茶道教室体験 (1 日) ③事前・事後の活動 (3 日)
20	西宮浜 義務教育	5/16 (月) ~ 5/20 (金)	①事業所での体験活動 (5 日)
21	西宮支援	6/20 (月) ~ 6/24 (金)	①コープの店長を招いてのラッピング、宣伝ポスター作りなど、バックヤードの動画視聴、共催についての講座 (3 日) ②サンドブラストガラスコップ制作 (2 日)

8 学校へのサポート

子供たちの主体的な学習、基礎・基本の確実な定着、「総合的な学習の時間」における創意工夫ある実践、地域の社会的教育力の活用などを重視した各学校園の特色ある取組みを支援するものとして、次の4つの事業を行った。

(1) 学習情報 -いずみ (情報資源の提供)

市内学校園の教員がアクセス可能な情報データベースとして学習情報「いずみ」を整備している。「いずみ」は教育委員会各課が所管する事業ごとに分類され、検索しやすい階層構造が整えられている。

収録された情報は、授業で児童生徒が利用できる学習資料の他、教師が授業の際に役立てることができる指導資料、研究推進計画や学習評価、進路指導に関する資料等、学校運営に必要な情報も蓄積されている。従来紙媒体で配布されていた発行物が令和3年度から「いずみ」で電子掲載されるなど、活用の幅が広がりつつある。

(2) 学習・環境サポート -ささえ (地域人材の活用)

小・中・高・特別支援学校のうち、コミュニティ・スクール導入校を除く23校を対象に、地域の人

の指導協力を得て、その専門的な知識や技術・経験を生かしたサポートを行った。令和4年度の学校支援者登録数は、1,772人で、新型コロナウイルス感染症の影響がある中、各学校で特色ある活動が展開された。

学習支援サポートでは、「総合的な学習の時間」での支援や本の読み聞かせ、支援を要する子供の学習補助、部活動指導等の活動を行った。また、環境支援サポートでは、園芸、樹木整備、校園内美化、登下校指導等の活動を行った。

(3) 研究推進サポート -みがき (指導力の向上)

幼・小・中・高・義務教育学校・特別支援学校を対象に、希望する学校園を研究指定校とし、研究会の指導助言、研究資料の購入や先進校訪問、講師招聘等、指導力の向上及び各校の研究推進をサポートした。

ア 令和4年度(2022年度)西宮市教育委員会研究推進指定校園一覧

No.	学校名	年次	教科等	研究テーマ等	発表日
1	夙川小	1/3	全教科・全領域	主体的・対話的で深い学びを生む授業づくり	-
2	神原小	2/3	全教科・全領域	誰もがわかる・できる授業の創造 ～聴き合える児童の育成～	-
3	上ヶ原小	2/3	全教科・全単元	ICT機器を活用した 「主体的・対話的で深い学び」につながる授業づくり	-
4	上ヶ原南小	3/3	人権教育 全教科・全領域	かかわり合いを生かした授業の工夫 ～企図した中の学び合える班・グループ活動～	11/25
5	高木小	3/3	全教科・全領域	伝え合い、学び合う子の育成 ～ペアやグループの活動を通して～	9/16
6	高木北小	1/3	全教科	学校の学びを問い直す ～自分らしさを核にした授業づくり～	-
7	今津小	2/3	国語科	仲間と共につくる主体的な学び ～学びをつなぐ授業作り～	2/2
8	南甲子園小	2/3	全教科・全領域	自ら考え、行動する主体的な学び手の育成 ～「きくこと」を大切にしたい学級づくり・授業づくりを通して～	-
9	小松小	2/3	国語科	学びに向かう力の育成 ～『～したい』を引き出す単元デザイン～	-
10	山口小	2/3	全教科・全領域	子ども主役の授業づくり ～豊かな言語活動を通して～	-
11	北六甲台小	3/3	生活科、総合的な学習の時間	切実に学び続ける子供 ～深い学びを生む授業づくり～	10/21
12	東山台小	3/3	全教科	思考力・判断力・表現力に焦点を置いた授業開発と、その評価の構築 ～自身の学びを活用し、豊かに表現できる子の育成～	2/3
13	深津中	2/3	全教科・全領域	子どもが主役、主体性をもって学習する自立した生徒の育成 ～自ら学ぶ集団作りをめざして～	-
14	高須中	3/3	全教科・全領域	「学び合い」を通じた協働的な学びの実現 ～一人ひとりに向き合い、誰一人とり残すことのない学校づくりを目指して～	10/5

No.	学校名	年次	教科等	研究テーマ等	発表日
15	西宮支援	2/3	・実態把握を生かした授業 ・集団授業におけるMTとSTのねらいの共有	実態把握を生かした子どもが輝く授業づくり ～目標の設定と達成に向けた手立てを工夫して、子どもの気付きと意欲を引き出す授業づくり～	2/3

※ 「年次」は、研究指定期間のうち何年目であることを示す。

※ 「発表日」は、研究指定期間に1回設定する研究発表日を示す。

イ 令和4年度（2022年度）小中一貫教育モデル校

No.	学校名	年次	教科等	研究テーマ等	発表日
1	西宮浜義務教育	3/4	全教科・全領域	よりよい未来を切り拓く児童・生徒の育成 ～児童生徒の「思考」に焦点をあてて～	—

※ 「年次」は、研究指定期間のうち何年目であることを示す。

※ 「発表日」は、研究指定期間に1回設定する研究発表日を示す。

ウ 令和4年度（2022年度）実践協力園（指定期間は単年度とする）

No.	園名	教科等	研究テーマ等
1	越木岩幼	環境・健康	身近な環境に主体的に関わり、友達と意欲的に遊びを創り出す子供の育成 ～全身で遊びに没頭する楽しさを味わうために～
2	高木幼	人間関係・環境	友達と考え、やってみようとする子供
3	春風幼	「人間関係」を中心とした全領域	一人一人が輝く保育の創造 ～個の実態に寄り添い、共に育ち合う援助や環境の構成の在り方を探る～
4	南甲子園幼	環境	子供自ら「やってみよう。」「遊んでみよう。」と思える保育の創造
5	生瀬幼	人間関係を中心に総合的に進める	友達と意欲的に遊びを創りだし、育ち合う子供の育成 ～自己を発揮し、友達と考え合う力を育む保育の工夫～

エ 令和4年度（2022年度）その他の研究等指定

<カリキュラム・マネジメントの実現推進モデル校>

No.	学校名	研究課題
1	高木北小	育成する資質・能力を明らかにし、具体的な教育課程を編成し、教育課程全体を通じた取組みを通じて、教科横断的な視点から教育活動の改善を行っていくカリキュラム・マネジメントの実現を図る。
2	鳴尾東小	
3	鳴尾北小	
4	北六甲台小	
5	深津中	
6	苦楽園中	

<道徳教育の充実推進モデル校>

No.	学校名	研究課題
1	夙川小	特に、特別の教科・道徳の学習活動において自己を見つめ、物事を（広い視野から）多面的・多角的に考え、自己の（人間としての）生き方についての考えを深めるために、「考え、議論する道徳」の実現を目指す。
2	苦楽園小	
3	苦楽園中	

<外国語教育の充実推進モデル校>

No.	学校名	研究課題
1	安井小	グローバル化が急速に進展する中で求められる力である外国語を用いての他者とのコミュニケーションの基盤の形成を図る。
2	夙川小	
3	大社小	
4	用海小	
5	南甲子園小	
6	西宮浜 義務教育	

<インクルーシブ教育システムの構築推進モデル校>

No.	学校園名	研究課題
1	浜脇幼	インクルーシブ教育システムの構築を目指し、通常の学級、特別支援学級、通級による指導及び特別支援学校において、教育課程全体を通じた特別支援教育の充実を図る。
2	大社幼	
3	鳴尾東幼	
4	夙川小	
5	上ヶ原南小	
6	段上西小	
7	春風小	
8	南甲子園小	
9	名塩小	
10	用海小	

<ICT活用推進モデル校>

No.	学校園名	研究課題
1	夙川小	ICT機器環境を有効活用した学習指導の充実を図る。
2	大社小	
3	高木北小	
4	春風小	
5	用海小	
6	鳴尾北小	
7	南甲子園小	
8	北六甲台小	
9	苦楽園中	
10	鳴尾南中	
11	西宮浜 義務教育	
12	西宮高	

<指導力向上に係る教員研修プログラム開発推進校>

No.	学校名	研究課題
1	西宮高	他の教育機関等と連携した教員研修プログラムを構築し、計画的に校内研修や講座に参加することを通して、教員の指導力向上を図る。
2	西宮東高	

<高大接続改革に係る指導法等研究推進校>

No.	学校名	研究課題
1	西宮高	高大接続改革における高校教育改革で求められる「教育課程の見直し」「学習・指導方法の改善」「多面的な評価の推進」などに取り組む。

(4) 幼稚園地域ふれあい事業 -にぎわい(学校園から地域へ)

公立幼稚園が核となり、ゲームや歌、運動、伝承遊びなどのふれあい活動を地域等との共催で行うことによって、子供たちが地域社会の中で育まれることを促進する事業。令和4年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全13園中5園が中止した。(例年は全園で実施)

園名	月日(場所)	会の名称とおもな活動内容	共催・参加者等
浜 脇	11/24 (浜脇中)	「にじいろコンサート」 あそびうたコンサート	浜脇地区青少年愛護協会・社会福祉協議会、浜脇コミュニティー・浜脇地区老人会、かえで保育所、つきの保育所、ゆめっこわかば保育園、さんしょ保育園、未就園児、保護者
夙 川	10/18 (北夙川体育館)	「みんなで遊ぼう会」 オセロゲーム・玉入れ・ボール運び競争	越木岩幼稚園、北夙川保育所
越木岩	10/18 (北夙川体育館)	「みんなで遊ぼう会」 オセロゲーム・玉入れ・ボール運び競争	夙川幼稚園、北夙川保育所
上ヶ原	10/19 (上ヶ原幼)	「にぎわいなかよし会」 体操、好きな遊び	甲東北保育所
門 戸	10/26 (門戸幼)	「伝承遊び」 こまであそぼう	なかよしうさぎ、保護者
高 木	10/21 (高木幼)	「みんなで遊ぼう」 リレー、運動会の出し物を披露する	上之町保育所、未就園児、保護者
南甲子園	7/11 (南甲子園幼)	「夏のつどい」 遊び(ゲームやお店屋さん等)を親子で楽しむ	浜甲子園健康幼稚園、ちどり保育所、浜甲子園2丁目保育所、未就園児、保護者
生 瀬	12/1 (生瀬幼)	「生瀬幼稚園作品展」 作品展「しゅっぱつ!!そらのたび」交流	生瀬小学校1年生、ALOHA保育園、未就園児、保護者

9 進路指導

令和4年度の西宮市立中学校・義務教育学校の卒業生数は3,749人で、令和3年度を17人下回った。

進学については、定時制・通信制課程への進学者も含めて99%が進学した。

就職については1人であり、新規卒業生への企業側からの積極的な求人ほとんどなく、近年ハローワークを通して就職もない状態が続いている。

《進学指導》

平成27年度公立入試からさらに学区が拡大され、第2学区34校(西宮市・尼崎市・宝塚市・伊丹市・川西市・猪名川町・三田市・丹波市・篠山市)において複数志願選抜入試が行われた。

令和5年2月に実施された特色選抜の倍率は、実施した市内5校の平均が1.3倍(令和3年度は1.3倍)であった。複数志願選抜の倍率は、第2学区全体で1.06倍(令和3年度は1.06倍)であった。また、令和5年度に、西宮市立中学校の生徒が第2学区の他市町の公立高等学校普通科へ入学した割合は約13%で、前年度と比べ1%ほど増加した。また、市内公立高等学校普通科入学生のうち市外からの生徒の割合は約20%であり、前年度と比べ1%ほど減少した。

《就職指導等》

新規中学校卒業生の就職については、希望者はほぼ皆無である。尼崎公共職業安定所を通じた求人についても希望した者はいなかった。また、その他として「進路未定」や「在家庭」の者が卒業生全体に対して0.7%程度となっている。

《令和5年3月中学校・義務教育学校卒業生の進路状況》

進	全 日 制	国 公 立	県 内 公 立	旧 西 宮 学 区 内	普通科(単位制・コース含む)	1,369
					グローバル・サイエンス科(市立西宮)	25
					国際文化情報学科(県立鳴尾)	33
					総合学科(県立西宮今津)	227
					音楽科(県立西宮)	3
				旧西宮学区外		673
				県外国公立		28
				私立		882
				通信制		289
				定時制		98
学	高等専門学校		30			
	特別支援学校高等部		50			
	就職		1			
	各種・専修学校等		12			
	その他		29			
合計		3,749				

10 高校教育

(1) 西宮市立高等学校パワーアップ事業の実施

新しい選抜制度の導入により、西宮市立高等学校は「選ばれる」立場となっている。市民満足度を高いものにしていくため、更に特色化・魅力化を進める取組みとして、西宮市立高等学校パワーアップ事業により探究的な学びや科学教育、キャリア教育等に関する講師の招聘、宿泊研修等を実施した。

(2) 特設科学講座・開放講座の実施

市立西宮高等学校のグローバル・サイエンス科、市立西宮東高等学校の数理・科学コース、人文・社会科学コースにおける科学教育の充実のために大学教員等の外部講師を招き、特設科学講座を計22回実施した。また、市立高等学校の教職員や外部講師による市民向けの教養講座として、開放講座(市立西宮高等学校：松柏講座、市立西宮東高等学校：木曜講座)を計12回実施した。

(3) 入学者選抜実施の支援

入学者選抜制度は、平成21年度入学者選抜から複数志願選抜が導入され、平成27年度入学者選抜からは県下で16あった学区が5学区に再編され、旧西宮学区は第2学区(複数志願選抜実施校34校)に含まれることになった。県教育委員会や中学校等と密に連携を図りながら、市立高等学校における入学

者選抜の円滑な実施を支援した。

(4) 高校教育改革等検討委員会の開催

学習指導要領の改訂をはじめとする高等学校教育改革、大学入学者選抜改革等を見据えつつ、スクール・ミッションを具現化するために各高等学校において策定されたスクール・ポリシーに基づき、市立高等学校の今後の方向性及び特色化の推進について検討を進めた。また、学習者用端末の導入を受けて ICT の利活用等についても議論を行った。

1 1 防災教育

阪神・淡路大震災から 28 年が経過し、東日本大震災から 12 年を迎えた。各学校園においては震災で得た教訓をもとに、「命の大切さ」、「助け合いの大切さ」、「他を思いやる心」を育み、震災を風化させない取り組みが行われた。

防災（避難）訓練の実施については、東日本大震災の経験から、鳴尾御影線以南の学校においては津波を想定した訓練も実施しており、地域の状況に応じた危機管理や訓練に対する意識は高くなっているが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、児童の引き渡し訓練や地域と連携した防災訓練を実施できない学校があった。

防災教育に関する実態調査より（令和 5 年 1 月現在）

区 分	小学校	中学校	義務教育学校	高等学校	特別支援学校	合計
防災教育の年間指導計画の立案	40	19	1	2	1	63
防災教育の実施	40	19	1	2	1	63
児童生徒引き渡し訓練	31	2	1	0	0	34
地域と連携した防災訓練の実施	21	16	1	2	0	37
防災マニュアルの見直し	40	19	1	2	1	63
災害時に避難所となる場合の使用施設や職員の役割の決定	40	19	1	2	1	63

※ 市立小学校 40 校、中学校 19 校、義務教育学校 1 校、高等学校 2 校、特別支援学校 1 校

第 3 節 特別支援教育

1 特別支援教育事業 (220401)

インクルーシブ教育システム構築のため、自立と社会参加を見据えた個の教育的ニーズに対する学校の取り組みについて、適切な支援体制の確立に努めた。また、交流及び共同学習等を通じて、相互理解・啓発の推進に努めるとともに、西宮支援学校の通学体制の構築、センター的機能の充実等に向けた事業を推進した。

(1) 学習指導の充実

一人ひとりの教育的ニーズや障害の状態についての的確に把握し、生活の向上や学習の充実に努めた。また、「自立活動」と教科等との関連性を重視しながら、指導内容や指導方法の工夫と改善を図った。

個別の教育支援計画や指導計画を作成し、学習指導や学級経営等に反映させるとともに、切れ目のない一貫した支援につなげた。

(2) 就学相談の充実

ア 教育的配慮を要する子供の適切な就学を推進するため、校内委員会の組織的・計画的運営に努めた。

イ 就学支援委員会の実施回数 7回

ウ 実施人数

幼稚園就園対象幼児 57人

小学校就学対象児童 215人

中学校就学対象生徒 112人

途中入級対象児童生徒 96人

計 480人

(3) 特別支援教育推進事業の助成と委託事業

ア 西宮支援学校の通学体制整備（西宮支援学校通学バス・タクシーの業務委託等）

イ 西宮支援学校の自立活動実技研修会への助成

ウ 西宮市特別支援教育研究協議会が実施する事業への支援

「第39回手をつなぐ子らの作品展」の開催（テレビ放映）

エ 学校生活適応のための援助（特別支援教育支援員・看護師・介助支援員・保育支援員・学校協力員の配置）

(4) 特別支援教育の研修の充実（主催：地域・学校支援課 特別支援教育課と連携して実施）

ア 特別支援教育コーディネーター研修 3回計画（3回実施）

イ 特別支援学級担任研修（障害種別ごと） 6回計画（6回実施）

ウ 特別支援教育支援員研修 3回計画（3回実施）

エ 保育支援員研修会 2回計画（2回実施）

オ 介助支援員研修会 2回計画（2回実施）

カ ノートテイク研修 1回計画（1回実施）

キ 特別支援教育に係る情報化研修 1回計画（1回実施）

ク 学校生活支援教員研修 6回計画（6回実施）

ケ 特別支援教育コーディネータースキルアップ研修 8回計画（8回実施）

コ 看護師研修 1回計画（1回実施）

(5) 西宮市特別支援教育審議会の開催

平成29年度、本市が進めようとする特別支援教育に関する施策が適切なものであるかを調査及び審議するため、学識経験者や医療関係者、保護者、教育関係者により、特別支援教育審議会（市の附属機関）を設置した。令和4年度は1回開催し、幼稚園における基礎的環境整備、小・中・義務教育学校における基礎的環境整備、西宮支援学校の通学及び校内支援体制について、教職員の専門性の向上について、交流及び共同学習の推進について、医療・福祉との連携について進捗状況を報告し、審議を行った。

(6) 西宮市立学校園における医療的ケア検討会

令和2年度、インクルーシブ教育システムの構築を推進する中、医療的ケア児が安心安全な学校生活を送るため、学識経験者や医療関係者、保護者、教育関係者により、学校園における医療的ケア検討会を設置した。令和4年度は2回開催し、必要な看護師の確保や医療体制整備、総合的な支援体制整備に向けて検討を重ねた。

第4節 学校保健安全

1 生徒指導事業 (220504)

生徒指導では、一人ひとりの児童生徒の内面理解と人間的なふれあいに基づく指導を充実させるとともに、全ての教育活動を通して児童生徒の社会的資質や行動力が高まるように指導、援助していくことが大切である。指導に際しては、児童生徒の人権に配慮し、個に寄り添った指導を徹底するとともに、いかなる場合においても体罰は絶対に許されない。

学校では、一人ひとりの児童生徒自らが、現在及び将来における自己実現を図っていくための自己指導能力の育成を目指して、生徒指導の方針・基準の明確化・具体化を図ることが重要である。また、時代の変化に対応しながら、校種間の連続性を有する一貫した生徒指導の体制づくりや、全ての職員による組織的・計画的な取組み、地域・家庭・関係機関との連携に努めることが必要である。

個々の児童生徒には、基本的な生活習慣や体力、学習習慣や学力、児童生徒間の人間関係、児童生徒と家庭・地域との関係等の実態把握に基づいた教育相談を充実させることで、個々の課題を受け止めさせ、問題がどこにあるのか、今後どのように行動すべきかを主体的に考え行動する力を養うことが重要である。また、保護者との信頼関係を深め、指導目標や計画を明確にして、組織的・計画的に指導するとともに、必要に応じて関係機関との連携を図り、家庭や地域の協力を得ながら、迅速に対応していくことが重要である。

令和4年度は、指導の重点を「子供の理解を深め、目標や計画を明確にして、自己指導能力の育成を目指す」とし、

- ① 児童生徒や社会の変化に対応した生徒指導方針のもと、それを踏まえた指導ができているか。
- ② 定期的なアンケート調査等で児童生徒の実態把握に努め、それに基づいた教育相談を実施して、共感的理解を深めながら指導ができているか。
- ③ 個々の課題を全体の課題として捉え、協働して課題解決を図るとともに、未然防止に向けた手だてを考え、取り組んでいるか。
- ④ 問題行動、不登校、虐待、いじめ等への適切かつ迅速な対応ができているか。
- ⑤ 家庭との信頼関係を深め、学校問題解決支援チームや関係機関とも連携を図っているか。
- ⑥ 校種間で積極的に交流を深めているか。
- ⑦ 個々の児童生徒に応じた指導目標や計画が明確になっているか。
- ⑧ 生徒指導の3つの機能（自己決定の場を与える、自己存在感を与える、共感的人間関係を育成する）を生かした授業づくりを行い、教科指導と生徒指導の一体化を図っているか。
- ⑨ 集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築き、人間としての生き方について自覚を深め、自己を生かす能力を養うため、特別活動の充実を図っているか。
- ⑩ 児童会活動や生徒会活動が充実し、自己選択・自己決定の場となっているか。
- ⑪ 学級活動において話し合い活動を大切にし、よりよい人間関係を築く力や自治的能力等を育てているか。
- ⑫ 児童生徒一人ひとりに自分や他者を大事に思う気持ちを持たせ、いじめや暴力のない、みんなが居心地のよい学級・学校づくりをしているか。
- ⑬ 「社会で許されない行為は、学校においても許されない」など、社会のルールやマナーを身につけさせているか。
- ⑭ 不登校生の評価について、できる限り多くの評価資料を集め、適切な評価活動を行うことに努めているか。
- ⑮ 「いじめは、どの学校でも、どの子供にも起こり得る」と認識し、学校いじめ防止基本方針のもと、いじめの未然防止や早期発見に努め、いじめ対応チームの組織を中心に問題を共有して組織的に取り組んでいるか。

といった評価の観点に基づき、指導の充実を図った。

また、以上のことに重点をおきながら、次のような具体的施策を推進した。

(1) 生徒指導に関する指導・助言

- ア 生徒指導主任（担当者）研修を通じた指導・助言
- イ 生徒指導に関する基本的事項、専門的事項についての助言
- ウ 児童生徒の適応指導についての助言
- エ 校内生徒指導研修会に対する指導・助言

(2) 生徒指導活動の推進

- ア 校種間の連携強化と充実
- イ 関係機関との連携と調整・協議

(3) 生徒指導に関する研究・研修の推進

- ・ 生徒指導主任（担当者）研修の実施

(4) 交通安全指導の推進

- ア 県や民間企業が実施する交通安全啓発事業の学校園への周知
- イ 交通安全教育の教職員への啓発

(5) 西宮市立学校生徒指導推進協議会の活動推進

- ア 校外生徒指導活動
- イ 研究紀要作成
- ウ 地区連絡網の見直し

(6) 生徒指導に関する協議の会

回	月日	会場	内容	講師等
1	4/15	若竹生活文化会館	令和4年度生徒指導の重点とねらい及び生徒指導の推進について	指導主事
2	6/2	西宮市役所 東館 研修室1	令和4年度夏季休業中及び2学期初めの生徒指導について	指導主事
3	11/4	西宮市役所 東館 研修室1・2	令和4年度冬季休業中及び3学期初めの生徒指導について ※ 西宮市いじめ対応ネットワーク会議と兼ねる	指導主事
4	2/9	オンライン	令和4年度末から令和5年度初めにかけての生徒指導について	指導主事

(7) 小学校生徒指導担当者会

回	月日	会場	内容	講師等
1	5/26	西宮市役所 東館 研修室1	生徒指導担当者の校内での役割について いじめへの対応について	指導主事
2	8/18	若竹生活文化会館	1学期の問題行動の傾向と2学期にむけて	指導主事
3	1/13	若竹生活文化会館	2学期の問題行動の傾向と3学期にむけて	指導主事

(8) 生徒指導連絡協議会

回	月日	会場	内容	講師等
1	4/21	中央公民館	市立学校とこども家庭センターとの連絡協議会	こども家庭センター職員
2	5/17	春風公民館	市立学校と警察との連絡協議会	甲子園警察署員

3	5/20	西宮市役所 東館 研修室 1	市立学校と警察との連絡協議会	西宮警察署員
---	------	-------------------	----------------	--------

(9) 西宮市立学校生徒指導推進協議会

ア 本部委員会

年2回開催。第1回は5月30日に開催し、令和3年度の事業報告及び令和4年度の事業計画について協議した。第2回は2月24日に開催し、令和4年度の実施事業の概要及び令和5年度の事業計画について協議した。

イ 校種別部会

(ア) 小学校部会

年間7回研究会を開催。「親和的学級風土のつくり方」を研究主題に、実践発表・事例研究・授業研究及び情報交換を行った。

(イ) 中学校部会

年間10回定例幹事会を開催し、生徒指導に関する情報交換及び方策等について協議した。また、「発達に課題がある生徒の居場所づくり」を研究主題に実践発表を中心に事例研究した。

(ウ) 高等学校部会

生徒指導についての情報交換及び協議の会を全県で2回、阪神地区3回、西宮市内3回実施し、生徒指導の充実を図った。

ウ 小中連絡会

地区	実施日 及び 会場校
浜脇	真砂中 (5/31) 今津中 (6/8) 浜脇中 (5/11) 南甲子園小 (2/28) 今津小 (3/3) 香櫨園小 (2/16)
大社	大社中 (6/10) 苦楽園中 (6/1) 大社小 (2/10) 苦楽園小 (2/28)
広田	上ヶ原中 (5/17、5/31) 平木中 (6/8) 深津中 (6/3) 広田小 (2/7) 瓦木小 (2/20)
甲東	甲陵中 (5/31) 瓦木中 (6/14) 甲武中 (6/2) 段上小 (2/7) 甲東小 (2/28) 瓦林小 (2/21)
上甲子園	上甲子園中 (6/1) 学文中 (6/6) 上甲子園小 (2/16) 小松小 (2/6)
鳴尾	浜甲子園中 (7/5) 高須中 (5/26) 鳴尾南中 (5/24) 鳴尾中 (5/24) 鳴尾小 (2/21) 高須西小 (2/21) 鳴尾東小 (3/7)
北	山口中 (7/11) 塩瀬中 (6/20) 北六甲台小 (3/1) 山口小 (3/1) 生瀬小 (2/27)

エ 中高生徒指導連絡協議会

回	月日	会場	内容
1	11/4	西宮市役所 東館 研修室 1・2	市立中学校、義務教育学校と市立高等学校の生徒指導担当者による連絡協議会を開催し、情報交換及び生徒指導上の課題等について協議。 ※ 西宮市いじめ対応ネットワーク会議と兼ねる。

(10) 生徒会リーダー学習会

実施日	会 場	内 容	実施校
12/26	浜甲子園中学校	市内全中学校、義務教育学校（後期）の新生徒会役員の代表 2 人と、生徒会担当教諭が集まり、交流を深めるとともに、生徒会活動のあり方と、明るく充実した学校生活のあり方を考える。	市立中学校 義務教育学校（後期） 全 20 校

(11) スクールカウンセラー

兵庫県教育委員会のスクールカウンセラー配置事業において、拠点校方式として 33 校（全中学校 19 校、小学校 13 校、義務教育学校（後期）1 校）に配置。県のスクールカウンセラー未配置の 31 校（小学校 27 校、義務教育学校（前期）1 校、特別支援学校 1 校、高等学校 2 校）には、西宮市のスクールカウンセラーを配置。不登校やいじめの問題、学校不適応等に適切に対応するため、子供・保護者・教師へのカウンセリング等を実施した。

(12) 学校問題解決支援チーム

生徒指導上の諸問題は多岐にわたっており、対応が困難な事案も発生する。その解決等に向けて必要な対応を効率的かつ効果的に推進することを目的として、学校問題主任専門員、スクールサポーター、教育相談員及びスクールソーシャルワーカーを派遣し、学校園の状況に応じた支援に努めた。また、委託契約を締結した弁護士による法的根拠に基づく視点からの助言を受けることにより、問題の早期解決が図られた。さらに、平成 29 年度から「いじめ相談専用ダイヤル」を設置し、新たに学校問題主任専門員を 2 人増員することで、いじめの早期発見、早期対応を図った。また、平成 30 年度から「小学校生徒指導に係る非常勤講師」を 2 人配置、令和元年度からスクールソーシャルワーカーを 5 人に増員し、学校における問題解決への支援体制の充実を図っている。

(13) いじめ防止等の対策

平成 25 年 9 月に施行された、いじめ防止対策推進法に基づき、以下の施策等を行った。

ア 教育委員会

名 称	月日	会 場	内 容
西宮市いじめ対応ネットワーク会議	11/4	西宮市役所 東館 研修室1・2	講演「感受性豊かな子ども達といじめ」 関西学院大学教授 丹羽 登
西宮市いじめ防止等対策委員会 (教育委員会の附属機関)	9/30	西宮市役所 東館 研修室2	協議「いじめ防止等に関すること」
	2/17	教育委員会 会議室	協議「いじめ防止等に関すること」

イ 学校

(ア) 学校いじめ防止基本方針の策定、公開

(イ) 定期的なアンケートの実施

(ウ) 相談体制（教育相談・相談窓口）の整備

2 校内災害対策事業 (220505)

校内災害対策事業として、学校園で発生する事故について被害者等へ補償を行っている。

学校管理下（登下校中を含む）において、児童生徒に被害が生じた事故については、主として独立行政法人日本スポーツ振興センターが運営する災害共済給付制度に加入し、事故による負傷、疾病、障害、死亡に対して、医療費、障害見舞金、死亡見舞金を支給する。

また、学校管理下（登下校中を除く）における学校業務遂行中の不注意による事故や、学校施設の瑕疵による事故等の法的責任が生じる案件については、「全国市長会」学校災害賠償補償保険に加入し、事故対応に備えている。

(1) 災害共済給付金支給件数

学校園から報告を受け、教育委員会から独立行政法人日本スポーツ振興センターに災害共済給付金請求を行い、給付金が支払われた件数は次のとおり。

区分		日本スポーツ振興センター災害共済給付	
		延給付件数	給付金額（円）
医療費	幼稚園	29	122,623
	小学校	2,321	8,696,816
	中学校	1,910	11,319,578
	高等学校	536	6,151,924
	特別支援学校	7	20,422
	計	4,803	26,311,363
見舞金	障害	0	0
	死亡	0	0
	計	0	0

※ 小学校には義務教育学校前期課程を、中学校には義務教育学校後期課程を含む。

(2) 賠償金支払件数

学校園から報告を受け、賠償金を支払った件数は次のとおり。

学校区分	件数	賠償額（円）	うち、学校災害賠償補償保険からの保険金支払額（円）
幼稚園	0	0	0
小学校	0	0	0
中学校	0	0	0
高等学校	0	0	0
特別支援学校	0	0	0
計	0	0	0

※ 学校災害賠償補償保険より、損害賠償請求事件の着手金に充当する費用として 275,000 円の支払いがあった。

(3) 学校園（管理下外含む）から報告を要する事故発生件数

学校園から報告を要する事故発生件数は、学校管理下及び登下校中は 58 件、学校管理外は 49 件、計 107 件であった。事故のうち交通事故関係は 76 件あった。

3 学校健康診断事業 (220506)

健康診断関係の項目及び受検人数等は次のとおりで、その結果については西宮市立学校園健康診断集計冊子「発育と健康」にまとめ、事後指導の徹底を図った。

種別	項目	時期	対象	受検人員
<児童等> 定期健康診断	身長・体重	4月～6月	幼児・児童・生徒全員	38,786
	視力検査	〃	〃	38,668
	聴力検査	〃	幼児・小1.2.3.5・中1.3・高1.3の全員	34,468
	内科健診(四肢の状態を含む)	4月～6月	幼児・児童・生徒全員	38,709
	眼科健診	〃	〃	35,866
	耳鼻科健診	〃	〃	30,211
	歯科健診	9月～12月	〃	38,325
結核検診	問診調査	4月～6月	小・中の全員	37,035
	胸部X線直接撮影	〃	高1の全員	608
	精密検査 ・ツベルクリン反応検査 ・胸部X線直接撮影	6月 6月～7月	小学生の該当者 該当者	51 15
心臓検診(1次)	心電図(4誘導)検査	4月～5月	小1・中1の全員	7,683
	心音図検査	〃	〃	7,683
	心電図(12誘導)検査	〃	高1の全員	608
	〃(2次)	該当者に必要な各種検査	特別支援学校の小1・中1	5
〃(3次)	2次→3次(専門病院)	幼・小・中・高の受検者 3次検診の受検者	394 68	
小4心臓検診(1次)	心電図(12誘導)検査	10月～12月	小4全員	4,310
〃(3次)	1次→3次(専門病院)		精密検診の受検者	107
腎臓検診(1次)	尿検査	4月～6月	幼児・児童・生徒全員	38,941
〃(2次)	尿精密検査、血液検査	6月～7月	幼・小・中・高の受検者	83
〃(3次)	(専門病院)		精密検査の受検者	48
脊柱検診(1次)	内科健診による視触診	4月～6月	幼児・児童・生徒全員	38,709
	精密検査	4月～6月	幼児・児童・生徒全員	
	〃(2次) ・視触診 ・X線直接撮影	9月～11月	幼児・児童・生徒の受検者	335 122
<教職員> 定期健康診断	(身長・体重・腹囲、血圧、血液、心電図、視力、眼底、聴力、尿検査他)	7月～8月	教職員全員	2,091
	胸部X線直接撮影	7月～8月	教職員全員	2,313
	大腸検査	7月～8月	40歳以上の教職員	1,041
	胃部X線間接撮影	〃	〃	477
	B型肝炎検査	〃	特別支援学校の教職員及び養護教諭の希望者	46
	前立腺がん検査	〃	50歳以上の男性教職員の希望者	140
<就学时健康診断>	医学検診、面接他	10月～3月	令和5年度小学校入学予定者	4,192

※ 小学校には義務教育学校前期課程を、中学校には義務教育学校後期課程を含む。

4 学校保健管理事業 (220507)

社会環境や生活環境の急激な変化は、心身の健康に大きな影響を与えている。児童生徒の健康問題は多様化・複雑化しており、また、学校では感染症の流行や予測が困難な事故が発生する状況もあるため、児童生徒の命を守るためにも、保健管理の充実を図ってきた。そして、これらの状況に的確に対応し、児童生徒が生涯にわたって心身ともに健康で安全な生活をおくるために、健康問題を積極的に解決する能力や態度を育てることを重要課題として、学校保健を推進した。

(1) 学校感染症対策

学校園は幼児、児童生徒等が集団で生活を営む場であるため、感染症が拡大しやすく、教育活動にも大きく影響を及ぼすことになる。新型コロナウイルス感染症の予防を徹底するとともに、感染拡大とまん延防止のため、保健所と連携して積極的疫学調査に協力してきたが、新型コロナウイルス感染症対策室分室を教育委員会内に設置し、学校保健安全法に基づく出席停止や、学級閉鎖、臨時休業等の必要な措置を講じた。また、文部科学省の「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」の改訂に合わせ、「西宮市立学校園における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」を Ver. 8 まで発出した。

(2) 学校環境衛生対策

西宮市薬剤師会等に委託して、次の定期検査を実施した。

ア 学校園飲料水水質検査

イ 学校プール水質検査（総トリハロメタン以外）

ウ 学校プール水質検査（総トリハロメタン） ※ 隔年、幼稚園は対象外

エ 学校給食調理室等衛生検査 ※ 幼稚園は対象外

オ 学校園教室内空気検査（ホルムアルデヒド以外）

カ 学校園教室内空気検査（ホルムアルデヒド） ※ 隔年

キ 学校園保健室等ダニ検査

※ 学校プール水質検査（総トリハロメタン）は、小学校（工事中の1校除く）、義務教育学校（西校舎）、特別支援学校の計41校を対象に実施した。

※ 学校園教室内空気検査（ホルムアルデヒド）は、幼稚園、中学校、義務教育学校（東校舎）、高等学校の計35校を対象に実施した。

(3) 精神保健推進協議会の活動

震災、事件・事故の「心のケア」、不登校、特別支援に絡む事例等、全教職員が子供理解を深め、教育の中でより適切な関わりができるよう、学校精神保健を推進していくことが求められている。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響であらゆる制限がある中、実施可能な41校園(76校園中)で定期コンサルテーション及び1回の危機コンサルテーションを実施した。

<ケース・コンサルテーションの実施>

小学校	18校 (18回)	
中学校	14校 (14回)	
高等学校	1校 (1回)	
義務教育学校	1校 (1回)	
特別支援学校	0校 (0回)	
幼稚園	7園 (7回)	計 41回

(4) 学校病治療対策費

定期健康診断等の結果、学校保健安全法施行令第8条に定める疾病を治療するための医療に要する費

用を小学校・中学校・義務教育学校の要保護・準要保護児童生徒延 15 人に対し、27,670 円給付した。

(5) 学校保健研修関係行事

月日	名 称	場 所	内 容
4/5	新任・転任学校保健 実務説明会	西宮市役所 811 会議室	「令和 4 年度養護教諭の実務について」
4/13	学校保健研修会 (校園長研修会)	動画配信	「学校のアレルギー疾患に対する取り組み ガイドライン（令和元年度改訂）を踏まえた 現場対応」 岡藤 郁夫 「ピンチはチャンス 学校で性暴力被害が起 こったら」 福岡 ともみ
4/21	学校保健担当者研修会 学校精神保健推進委員研修会	動画配信	「学校精神保健活動と生徒への個別的学習 活動」 白瀧 貞昭
7/7	養護教諭研修会	オンライン	熱中症対策に係るシンポジウム
7/21	新任 1・2 年次、15・16 年次 養護教諭研修会	総合教育センタ ー研修室 2	「養護教諭として押さえておきたい疾病管 理について」
7/27	6 年次、10・11 年次 養護教諭研修会	総合教育センタ ー研修室 2	「児童生徒が健康で安全な生活を送るため の組織的な支援」～健康相談を通して～
8/4	健康教育研修会	動画配信	「健康で安全な生活が主体的に実践できる 子供の育成をねらって」
11/29	新任 1・2 年次養護教諭 研修会	教育委員会 会議室	「学校園における環境衛生について」 山田 玉美
11/24	学校歯科保健研修会	総合教育セン ター研修室 1 動画配信	「気をつけたい子供の歯並び」 中西 秀郎
2/7	新任 1・2 年次養護教諭研修会	総合教育セン ター研修室 2	養護教諭の行う健康相談
2/24	養護教諭研修会	若竹文化会 館 講堂 動画配信	「てんかんへの理解」 下村 英毅
3/13	令和 5 年度学校保健実務説明 会	オンライン	「令和 5 年度養護教諭の実務について」

(6) 教科等研究会に対する助言

学校保健関係職員が行っている実践的研究を積極的に助言した。

- ・ 幼教研健やかな心と体部会
- ・ 小教研学校保健部会
- ・ 中教研養護教諭部会
- ・ 養護教諭研究協議会

(7) 西宮市学校保健会の活動

ア 研究助成

(ア) 研究指定校 上甲子園中学校

(イ) 研究団体

西宮市養護教諭研究協議会

西宮市学校保健担当者会

(ウ) 学校保健及び学校安全の推進事業

合計 7 団体： 高木北小学校、高須西小学校、鳴尾北小学校、甲武中学校、山口中学校、
南甲子園幼稚園、中学校教科等研究会（養護教諭部会）

イ 第 67 回西宮市学校保健研究大会

日 時 令和 5 年（2023 年）2 月 16 日（木）～3 月 17 日（金）
場 所 Web（オンデマンド）開催
主 題 「生涯をたくましく生きぬく子どもの育成をめざして」
表 彰 ・西宮市学校保健功労者表彰（書面開催）
・兵庫県教育長・学校保健会長表彰受賞者へ市長感謝状（書面開催）
講 演 会 テーマ 「薬物乱用防止教室」の充実～若年層における市販薬の過剰摂取と大麻乱用～
講 師 西宮市薬剤師会 学校薬剤師 植田 篤治 氏

5 教育支援センター整備

近年、不登校児童生徒数が増加しており、市立小学校・中学校・義務教育学校合計で 1,000 人を超えた。不登校児童生徒の状況は様々であるため、個に応じた支援が求められており、不登校児童生徒支援の充実を図る必要性が高まったことから、不登校児童生徒が学校外で学習する公的施設である教育支援センター「あすなろ学級」を再編・拡充し、不登校児童生徒支援の充実を図る必要があった。

これを受け、既存の「あすなろ学級なるおきた」における支援を充実させるとともに、市立瓦木幼稚園休園施設を改修して令和 3 年 4 月に「あすなろ学級かわらぎ」として開設。さらに同月、塩瀬公民館を利用した「あすなろ学級しおせ」を開設し、続いて同年 9 月に山口中学校内に「あすなろ学級やまぐち」を開設した。さらに、令和 4 年度からサテライト型の「うえがはら」、「はまわき」を開設した。

6 不登校児童生徒支援事業（220511）

市立小学校・中学校・義務教育学校における不登校児童生徒の急増と、個に応じた支援の必要性の高まりを踏まえ、「あすなろ学級みらい」（こども支援局所管）及び「あすなろ学級なるおきた」（教育委員会所管）において各 40 人程度を受け入れ可能としたほか、「あすなろ学級かわらぎ」（教育委員会所管）において午前 40 人程度、午後 40 人程度を受け入れ可能とした。

市内の北部地区における不登校児童生徒支援の取組みとして「あすなろ学級しおせ」（教育委員会所管）で 15 人程度、「あすなろ学級やまぐち」（教育委員会所管）では午前 15 人程度、午後 15 人程度を受け入れ可能とした。

そして、不登校児童生徒の増加に伴い、「あすなろ学級うえがはら」（教育委員会所管）及び「あすなろ学級はまわき」（教育委員会所管）では、各 15 人程度を受け入れ可能とした。

また、家に引きこもりがちな児童生徒と「つながる」ことに重点を置いたオンライン支援を試行的に実施した。

各学校への不登校対策支援としては、派遣依頼のあった学校へ有償ボランティア（居場所サポーター）を派遣し、教室に入りづらい児童生徒をサポートルーム（別室）等で支援した。

今後も不登校児童生徒は増加する見込みであり、その対策や支援体制の構築が喫緊の課題である。

(1) あすなろ学級なるおきた

ア 対象者 市立小学校・中学校・義務教育学校在籍の不登校児童生徒（最大 40 人程度）
イ 開級日 月～木
ウ 開級時間 9:15～14:15
エ 活動内容 教科学習、自主学習、表現活動、体験活動、スポーツ活動、交流活動
オ 在籍人数 令和 4 年度 40 人（小学生 7 人、中学生 33 人）

※ 小学生には義務教育学校前期課程を、中学生には義務教育学校後期課程を含む。

- カ 指導員 4人（会計年度任用職員パートタイム A）
- キ 指導補助 学生サポーター 登録者数 10名
- ク 入級手続 （ア）事前連絡票（学校が学校保健安全課に送付）
（イ）学校面談（学級担任等と指導員等の面談）
（ウ）保護者面談（入級希望児童生徒及び保護者と指導員等の面談）
（エ）体験入級（4日間程度）
（オ）本入級（体験入級が終了した場合に可とする）
- ケ 学校との連携（ア）通級報告書（各月の出席状況をあすなろ学級から学校に報告）
（イ）担任懇談（学期に一回学級担任と指導員等の懇談）

(2) あすなろ学級かわらぎ

- ア 対象者 市立小学校・中学校・義務教育学校在籍の不登校児童生徒
（最大午前 40 人程度、午後 40 人程度）
- イ 開級日 月～木
- ウ 開級時間 9:30～11:30、13:00～15:00
- エ 活動内容 教科学習、自主学習、表現活動、体験活動、スポーツ活動、交流活動
- オ 在籍人数 令和 4 年度 午前 37 人（小学生 3 人、中学生 34 人）
午後 23 人（小学生 2 人、中学生 21 人）

※ 小学生には義務教育学校前期課程を、中学生には義務教育学校後期課程を含む。

- カ 指導員 4人（会計年度任用職員パートタイム A）
- キ 指導補助 学生サポーター 登録者数 11名
- ク 入級手続 （ア）事前連絡票（学校が学校保健安全課に送付）
（イ）学校面談（学級担任等と指導員等の面談）
（ウ）保護者面談（入級希望児童生徒及び保護者と指導員等の面談）
（エ）体験入級（4日間程度）
（オ）本入級（体験入級が終了した場合に可とする）
- ケ 学校との連携（ア）通級報告書（各月の出席状況をあすなろ学級から学校に報告）
（イ）担任懇談（学期に一回学級担任と指導員等の懇談）

(3) あすなろ学級しおせ

- ア 対象者 市立小学校・中学校・義務教育学校在籍の不登校児童生徒（最大 15 人程度）
- イ 開級日 月、木
- ウ 開級時間 13:00～15:00
- エ 活動内容 自主学習、交流活動
- オ 在籍人数 令和 4 年度 10 人（小学生 2 人、中学生 8 人）

※ 小学生には義務教育学校前期課程を、中学生には義務教育学校後期課程を含む。

- カ 指導員 2人（会計年度任用職員パートタイム A）
- キ 入級手続 （ア）事前連絡票（学校が学校保健安全課に送付）
（イ）保護者面談（入級希望児童生徒及び保護者と指導員等の面談）
（ウ）本入級（保護者面談を終えた日から本入級となる）
- ク 学校との連携（ア）通級報告書（各月の出席状況をあすなろ学級から学校に報告）

(4) あすなろ学級やまぐち

- ア 対象者 市立小学校・中学校・義務教育学校在籍の不登校児童生徒
（最大 午前 15 人程度 午後 15 人程度）
- イ 開級日 月、火、水、金

- ウ 開級時間 9:30～11:30、13:10～15:10
- エ 活動内容 教科学習、自主学習、表現活動、体験活動、スポーツ活動、交流活動
- オ 在籍人数 令和4年度 午前0人
午後1人（小学生1人）
※ 小学生には義務教育学校前期課程を、中学生には義務教育学校後期課程を含む。
- カ 指導員 2人（会計年度任用職員パートタイムA）
- キ 入級手続 (ア) 事前連絡票（学校が学校保健安全課に送付）
(イ) 学校面談（学級担任等と指導員等の面談）
(ウ) 保護者面談（入級希望児童生徒及び保護者と指導員等の面談）
(エ) 体験入級（4日間程度）
(オ) 本入級（体験入級が終了した場合に可とする）
- ク 学校との連携 (ア) 通級報告書（各月の出席状況をあすなろ学級から学校に報告）
(イ) 担任懇談（学期に一回学級担任と指導員等の懇談）

(5) あすなろ学級うえがはら

- ア 対象者 市立小学校・中学校・義務教育学校在籍の不登校児童生徒（最大15人程度）
- イ 開級日 木
- ウ 開級時間 13:00～15:00
- エ 活動内容 自主学習、交流活動
- オ 在籍人数 令和4年度 3人（小学生2人、中学生1人）
※ 小学生には義務教育学校前期課程を、中学生には義務教育学校後期課程を含む。
- カ 指導員 2人（学校保健安全課 補導チーム）
- キ 入級手続 (ア) 事前連絡票（学校が学校保健安全課に送付）
(イ) 保護者面談（入級希望児童生徒及び保護者と指導員等の面談）
(ウ) 本入級（保護者面談を終えた日から本入級となる）
- ク 学校との連携 (ア) 通級報告書（各月の出席状況をあすなろ学級から学校に報告）

(6) あすなろ学級はまわき

- ア 対象者 市立小学校・中学校・義務教育学校在籍の不登校児童生徒（最大15人程度）
- イ 開級日 金
- ウ 開級時間 13:00～15:00
- エ 活動内容 自主学習、交流活動
- オ 在籍人数 令和4年度9人（小学生3人、中学生6人）
※ 小学生には義務教育学校前期課程を、中学生には義務教育学校後期課程を含む。
- カ 指導員 2人（学校保健安全課 補導チーム）
- キ 入級手続 (ア) 事前連絡票（学校が学校保健安全課に送付）
(イ) 保護者面談（入級希望児童生徒及び保護者と指導員等の面談）
(ウ) 本入級（保護者面談を終えた日から本入級となる）
- ク 学校との連携 (ア) 通級報告書（各月の出席状況をあすなろ学級から学校に報告）

(7) 不登校児童生徒を支援する公的施設、フリースクール等の民間施設との連携

- ア 教育委員会と民間施設との情報交換会開催
- イ 民間施設への訪問（5施設）

(8) 西宮市不登校対策庁内検討委員会

児童生徒の不登校について、教育委員会内で連携及び調整を図り、その対策等を検討することを目的として開催。

回※	月日	会 場	内 容
18	5/27	教育委員会会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度不登校児童生徒数の分析 ・不登校児童生徒への新しいオンライン支援について
19	7/27	教育委員会会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・フリースクール、民間施設との交流会についての報告 ・不登校児童生徒への新しいオンライン支援について
20	9/26	教育委員会会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度第1回不登校連絡対策協議会の報告について ・不登校担当者研修会報告 ・市の不登校支援広報報告 ・不登校児童生徒への新しいオンライン支援について
21	11/17	西宮市役所東館 研修室3	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域やまびこ教室」参加報告 ・「あすなろオンライン」進捗状況 ・「あすなろ学級」の在り方について
22	1/23	西宮市役所東館 研修室3	<ul style="list-style-type: none"> ・学校園、西宮市HPについて ・西宮市推進の方向「不登校児童生徒への支援の充実」報告 ・「あすなろ」リニューアルの方向性 ・校内における不登校児童生徒への支援の充実について
23	3/17	西宮市役所東館 研修室3 (不登校対策連絡 協議会と同時開催)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度「あすなろ」リニューアルについて ・「あすなろオンライン」進捗状況 ・令和5年度不登校児童生徒対策、支援について

※ 回数は令和元年度からの通算回数。

(9) 西宮市不登校対策連絡協議会

児童生徒の不登校対策について、教育委員会が学校、保護者、地域の代表と連携及び意見交換を図ることを目的として開催。

回	月日	会 場	内 容
1	7/14	教育委員会会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・「あすなろ学級」の概要説明 ・意見交換、情報交流
2	11/15	西宮市役所東館 研修室3	<ul style="list-style-type: none"> ・市の不登校支援広報報告 ・不登校児童生徒への新しいオンライン支援について ・意見交換、情報交流
3	3/17	西宮市役所東館 研修室3 (不登校対策庁内 検討委員会と同時 開催)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度「あすなろ」リニューアルについて ・令和5年度不登校児童生徒対策、支援について ・意見交換、情報交流

第5節 学校給食

学校給食は、児童生徒に食事について正しい理解と望ましい習慣を養うとともに、健康の増進をはかることなどを目標に、小学校、中学校、義務教育学校、特別支援学校において全校自校調理方式により実施した。

献立は、小・中学校、義務教育学校は、それぞれブロック別統一献立で、特別支援学校は独自献立で実施しており、献立内容では、行事食・外国料理等を取り入れるなど多様化を図るとともに、小学校において子供たちがあらかじめ食べたい献立を予約しておくリザーブ給食を行い、選択給食の充実を図った。併せて、学校給食用パンの個包装及び金属探知を実施し、安全管理を徹底した。

食物アレルギー対応については、食物アレルギー対応マニュアルに沿って、調理最終段階での卵（うずら卵、マヨネーズを含む）除去を基本とした除去食対応を行うとともに、保護者から提出されたアレルギー献立チェック表の情報を教職員が共有することで、アレルギー事故防止に努めた。また、平成29年9月の献立から学校給食献立作成・アレルギー管理システムを全校で本格的に稼働した。

衛生管理については、学校給食衛生管理基準及び西宮市学校給食衛生管理指針に基づき徹底を図るとともに、調理従事者等への研修を実施し、意識の高揚に努めた。

施設設備については、給食室の空調整備を実施するとともに耐用年数の経過した備品の買い換えや施設の補修工事を実施した。

また、平成27年7月に西宮市学校給食審議会からの答申を受け、見直しを行っていた学校給食基本方針を平成29年3月に改定した。

1 給食管理運営事業 (220508)

(1) 給食実施状況

小学校、中学校、特別支援学校の児童生徒を対象に実施した。

区分 校種別	1食当たりの給食費(円)	実施回数(回)	実施延食数(食)
小学校	250	184	4,910,373
中学校	297	178	1,925,273
義務教育学校	前期課程 250	186	30,625
	後期課程 297		53,205
特別支援学校	小学部 250	172	22,669
	中学・高等部 297		
計	—	—	6,942,145

※ 小学校・中学校の実施回数は、平均実施回数。

(2) 給食費収支

区分	金額(円)	摘要
給食費収入額	1,891,794,553	児童生徒、教職員等給食費等
給食費支出額	1,896,910,276	食材費、食材配送費
差額	△5,115,723	西宮市学校給食費基金で補填

※ 令和2年度から、新型コロナウイルス感染症に係る出席停止や学校閉鎖等の場合には給食費を請求していない。

※ 令和4年10月～令和5年3月の間、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した「西宮市学校給食費支援事業」を実施し、学校給食費の保護者負担額を実質無しとした。

(3) 衛生管理

学校給食用物資等について、下記の検査を実施し、衛生管理及び品質管理の徹底を図った。また、学校給食従事者に、月2回の検便を実施した。

内 容	検査日	検査者	検査項目	検査数	結 果
米飯及び米飯用食器の細菌検査	6/27 12/5	西宮市保健所	大腸菌群、 一般細菌数	米飯及び食器 各1検体	大腸菌群 米飯：陰性 食器：陰性 一般細菌数 米飯：基準値未満 食器：基準値未満
米飯用食器汚れ落ち検査	5/23 6/27 10/26 12/5 3/6	学校給食課	でんぷん分、 脂肪分の汚れ	米飯用食器1枚×2 (米飯用食器洗浄委託業者において抜き取り)	いずれも良好

(4) 学校給食関係会議・研修会等

名 称	期 日	対象者	内 容
西宮市学校給食審議会	11/24, 3/17	審議会委員	給食実施状況の報告及び収納状況の報告、給食関係予算及び決算報告
西宮市学校給食献立検討委員会	5/9, 5/10 8/1, 8/2 10/3, 10/4 1/10, 1/11 3/1, 3/2	献立検討委員	献立検討その他給食全般について
献立作成研究会	5/24, 5/26 7/12, 7/14 10/21, 10/24 12/14, 12/16 3/13, 3/14	チーフ調理員 献立作成栄養教諭	実施献立の反省・検討及び実施予定献立の説明
学校給食事業場安全衛生委員会	5/20, 7/15, 9/9, 10/14, 11/11, 12/9, 2/17	安全衛生委員	労働安全衛生法等に基づき事業場及び職員の安全衛生について協議
西宮市学校給食物資評価委員会	4/20, 6/20 9/20, 11/21 2/20	物資評価委員	給食に使用する物資の規格との確認
西宮市学校給食栄養担当者会	4月, 7月, 9月, 12月, 2月の 第2木曜日	栄養教諭	献立原案作成・検討、栄養管理、衛生管理、給食物資等について検討

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため「調理従事者等研修会(聴講研修)など」を中止。

(5) 食育推進

栄養教諭の配置とともに各校における食育推進指導体制、組織の整備及び食に関する指導計画の策定に努め、栄養教諭・学校栄養職員による食に関する研究授業を実施した。栄養教諭が中心になって、食育推進実践研究の方向性・方策の検討、協議を行い具体的な実践計画・内容等の立案や研究を行った。市内産の小松菜やきゅうりなど4品目の農作物を学校給食に取り入れ、地産地消の推進に努めた。

(6) 食育関係会議・研修会等

名称	期日	対象者	内容
食育(給食)担当者会	4/25	食育(給食)担当教諭	学校における食育推進について
食育推進研修会 兼 食育(給食)担当者会	8/8	栄養教諭 学校栄養職員	講演 「主体的・対話的で深い学びに届く食の授業～地消地産の取組みをいかして～」(オンライン) 講師 武庫川女子大学教授 高橋享子

2 給食施設設備整備事業 (220509)

事業名	事業費(千円)	事業概要
学校給食施設設備整備事業	93,058	回転釜買換え : 樋ノ口小、瓦林小、小松小、北六甲台小 食器消毒機買換え : 高木小、南甲子園小、小松小、深津小、深津中 食器洗浄機買換え : 西宮浜義務(前期)、瓦木小、甲子園浜小、鳴尾南中 ボイラー買換え : 上ヶ原中、今津中、浜脇中、鳴尾中

主な工事(請負金額税込1,000千円以上)

工事名称	請負金額(千円)
平木小学校・上ヶ原南小学校給食室冷暖房機械設備工事	19,800
上甲子園中学校・西宮支援学校給食室冷暖房機械設備工事	18,920
平木小学校・上ヶ原南小学校給食室冷暖房電気設備工事	2,639
上甲子園中学校・西宮支援学校給食室冷暖房電気設備工事	2,354
甲東小学校給食室給水・給湯管改修機械設備工事	7,574
上甲子園中学校・西宮支援学校給食室塗装改修工事	3,564
平木小学校北棟・上ヶ原南小学校南東棟給食室塗装改修工事	3,335

第6節 学校情報化推進

1 学校情報化推進事業 (220207)

(1) 組織

学校情報化については、平成 21 年度、新たな専任の担当組織として学校情報化推進グループを設けて取り組むことになった。市長が教育 CIO を兼務して、教育長が教育 CIO 補佐となり、全庁的な組織として、学校情報化推進本部を設置した。学校においては、学校 CIO である校長を中心として、学校 CIO 補佐（教員、事務職員）2 人がサポートする体制を整備した。

また、学校 ICT 環境の更新に向けて、学校の代表者及び教育委員会事務局内の関係部署からなる次期 ICT 環境整備検討委員会を設置した。

(2) ICT 機器整備等

平成 21 年度の、国の学校 ICT 環境整備事業の補助金を受け、小・中・高・特別支援学校の教室を校内 LAN でつなぎ、大型ディスプレイと教室用パソコン、プロジェクター装置、教室移動用パソコン等を整備した。さらに、小・中・特別支援学校には電子黒板を 1 台ずつ配備した。

これによりパソコンを利用した授業が普通教室で行える環境となり、西宮市教育情報ネットワークシステム (EduNet) やインターネットを活用した授業が可能となった。

令和元年度には校務系機器の更新を、令和 2 年度には、文科省が提唱する GIGA スクール構想に基づき、国庫補助金を活用し、児童生徒用 1 人 1 台端末の整備と校内ネットワークの整備を行うとともに教育系機器の更新等を行った。

令和 3 年度には、学校毎にインターネット接続用回線を新たに整備し、校内からのインターネット接続について環境改善を行った。

ア 学校情報化推進事業に係る教育系 PC 整備状況 (令和 4 年度末 現在) (単位: 台)

整備内容	小学校	中学校	高等学校	義務教育学校	特別支援学校	事務局	合計
児童生徒用 タブレットパソコン	22,263	11,253	0	449	30	0	33,995
移動用 タブレットパソコン	4,244	0	100	0	16	0	4,360
指導者用 ノートパソコン	1,067	475	0	27	12	21	1,602
パソコン教室用 デスクトップパソコン	0	801	0	40	0	0	841
図書システム用 パソコン	88	40	6	4	2	0	140

イ 学校の ICT 環境の整備状況と教員の ICT 活用指導力 (令和 5 年 3 月 1 日 現在)

指標	数値
校務用パソコン 教員への配備率	100.0 %
教育用パソコン 1 台あたり児童生徒数	1 人
普通教室 校内 LAN 整備率	100.0 %
校務に ICT を活用する能力 ※	93.8 %
授業中に ICT を活用して指導する能力 ※	87.6 %

※ 文部科学省「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」より

(3) 校務支援システム

平成 21 年度から順次開発を進めており、平成 23 年度からは、サブシステムごとの検討委員会やワーキンググループを設置し、完成したサブシステムは順次稼働させ、平成 24 年度末には、ほぼすべてのサブシステム（12 カテゴリ 27 サブシステム）が稼働した。

特に、平成 24 年度から全小中学校 60 校での運用が始まった通知表作成システム及び指導要録（指導）作成システムは令和元年度においても安定稼働しており、学期末や年度末の校務の負担軽減に寄与している。また、各サブシステムの稼働に伴い教員個々の「校務や授業に ICT を活用する能力」は依然として高い水準を維持している。

(4) 保守体制

平成26年度の校務用パソコン入替、平成27年度の教育用パソコンの入替を行う際に、賃貸借契約に変更したため、ハードウェア保守については賃貸借契約に含めることにより、保守費の軽減が可能となった。また常駐 SE 等によるネットワーク・サーバ等の常時監視などの対応は維持しており、システムの安定稼働の提供を可能にし、市教育委員会・学校園の保守業務の負担を軽減している。

第 7 節 総合教育センター

1 研究・研修事業（220701）

(1) 研究グループ

小・中学校教職員で研究グループを組織し、指導主事の指導助言を受けながら、今日的な教育課題解決のための共同研究を行った。

研究グループ名（領域）	研究主題
教育一般 小学校社会	3・4 年生社会科副読本「わたしたちの西宮」の編集及び効果的な活用の研究
教育一般 中学校社会	西宮郷土学習の教材「西宮郷土資料集」・「西宮郷土地図」の教材開発、授業改善の研究
教育一般 英語・外国語活動	小・中学校において、言語活動の充実を図り、思考力・判断力・表現力を育む授業作りの研究
教育一般 校内研究	西宮版「校内研究推進ガイドブック」の作成
科学教育 理科教育	効率的な実験方法・子どもの興味関心をひく発問の研究とその伝達
情報教育 情報教育	ICT を活用した授業改善・プログラミング教育の研究
教育一般 こころの教育	いじめ・不登校の未然防止に向けた魅力ある学校づくり ～「こころん・サーモ」を活用したエビデンスに基づく児童生徒理解～

(2) 教育調査・研究のまとめ

ア 学力調査（小学校・中学校）

(ア) 調査目的

義務教育 9 年間における基礎学力の定着と向上の観点から、全国学力・学習状況調査と合わせて、市として学力調査を実施し、基礎資料となるデータを収集・蓄積し、市内児童生徒の学力・学習状況を把握・分析することにより、教育施策や教育条件等の検証・改善を図る。

全国学力・学習状況調査において、毎年国語、算数・数学が、3 年毎に理科、英語が実施され

る。平成 30 年度から、実施以外の教科を補填する形で市の学力調査を実施している。

- (イ) 調査期日 全国学力・学習状況調査：令和 4 年(2022 年)4 月 19 日(火)
市の学力調査：令和 4 年(2022 年)5 月 9 日(月)～13 日(金)
- (ウ) 調査対象 小学校及び義務教育学校(前期)第 6 学年
中学校第 3 学年及び義務教育学校(後期)第 9 学年の全児童生徒
- (エ) 調査内容 小学校及び義務教育学校(前期)第 6 学年：(全国)国語、算数、理科、質問紙
(市)社会
中学校第 3 学年及び義務教育学校(後期)第 9 学年：
(全国)国語、数学、理科、質問紙
(市)社会、英語
- (オ) 調査結果 全国の平均正答率を 50 とした偏差値による 3 年間の推移

【国語】

小学校第 6 学年

年度	R1	R3	R4
西宮市	52.2	52.6	54.1

中学校第 3 学年

年度	R1	R3	R4
西宮市	52.2	51.1	51.4

【算数・数学】

小学校第 6 学年

年度	R1	R3	R4
西宮市	58.1	54.9	57.3

中学校第 3 学年

年度	R1	R3	R4
西宮市	54.8	53.3	56.7

【社会】

小学校第 6 学年

年度	R1	R3	R4
西宮市	51.7	48.5	49.2

中学校第 3 学年

年度	R1	R3	R4
西宮市	50.6	52.9	51.1

【理科】

小学校第 6 学年

年度	H27	H30	R4
西宮市	53.8	53.8	53.3

中学校第 3 学年

年度	H27	H30	R4
西宮市	51.8	52.7	53.9

【英語】

中学校第 3 学年

年度	H30	R3	R4
西宮市	54.6	55.7	57.5

- ※ 本検査は、前学年の学習内容を調査している。
- ※ 【社会】は、R1 市の学力調査、R3 市の学力調査、R4 市の学力調査。
- ※ 【英語】は、H30 市の学力調査、R3 市の学力調査、R4 市の学力調査。
- ※ R2 は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施を中止した。

(3) 教科等研究会に対する助言

全市教職員が自主的に実践研究を推進している各研究団体に助言を行った。

ア	西宮市幼児教育研究会	会長	浜脇幼稚園長	上田 優美
イ	西宮市立小学校教科等研究会	会長	北六甲台小学校長	池田 睦郎
ウ	西宮市立中学校教科等研究会	会長	高須中学校長	西海 達夫

(4) ひょうごがんばり学びタイム

「確かな学力」の育成に向け、基礎・基本や学習習慣の定着、知識・技能を活用する力等、課題の改善を図るため、兵庫県からの委託を受け、小学校 30 校、中学校 6 校、義務教育学校 1 校において地域人材を活用したきめ細かな学習支援を行った。

また、小学校 19 校で、英語が堪能な人材が外国語活動、外国語科の授業において、授業補助や学習支援を行った。

(5) 学校図書館の充実

ア 人のいる図書館

令和元年度から学校司書を配置（全小・中・特別支援学校 60 校に 40 人、研修日 2 日を含め各校 44 日勤務。西宮浜義務教育学校には読書振興課所属の学校司書 2 人が週 5 日勤務）。および教科指導等相談事業（学校図書館活動等）にかかる講師に対する報償費を措置（実施校：幼 3 園、小 1 校計 4 校園）

イ 本に親しむ環境整備

市立全学校の学校図書館図書標準冊数に対する蔵書整備率 100%以上を目指すとともに、図書の更新を促進。

ウ 検索できる図書館の整備

調べ学習用パソコンの配備、調べ学習用のカテゴリ別検索サイトの構築。

2 現職教育－専門研修

(1) 教科・領域

各教科や領域において、その専門性を高め、教職員の資質・指導力の向上を図るために、授業研究や教材開発、実技、指導法等について研修を行った。

教科	内 容	回数	参加人数
小学校外国語活動	講話『『指導と評価の一体化』に向けて』、外国語活動ワング イント講座 他	3	81
国語科	講話[物語文における主体的・対話的で深い学び]	1	76
社会科	臨地研修「平安京遷都遺跡を訪ねる」 臨地研修「歩こう知ろう西宮」 講話「思考の可視化を組み込んだ『子どもと共に創る板書』 の授業」 他	3	61
算数・数学科	講話「一人ひとりの児童の数学的な見方・考え方の成長を 目指す授業」	1	30
理科	講話・演習「西宮の海岸での自然観察」 他	3	52
「わたしたちの西宮」	社会科副読本「わたしたちの西宮」の指導計画立案および 指導方法について	2	33

教科	内 容	回数	参加人数
英語科	講話『指導と評価の一体化』のための学習評価について	1	41

(2) 情報教育研修

情報活用能力の向上をはかるとともに、ICT 機器やデジタルコンテンツを授業の中で有効かつ効果的に活用できる教員の育成に重点をおいて実施した。

領域	内 容	回数	参加人数
学校事務職員 パソコン研修	Microsoft Forms 活用研修 他	3	68
情報教育研修	Microsoft Teams 活用研修 他	7	199

(3) 課題教育

学校教育の今日的課題である諸問題について、その課題や指導のあり方等について研修を実施した。

課題	内 容	回数	参加人数
特別支援教育研修	講話「事例から学ぶ、発達障害をもつ子どもへの正しい理解と支援」	1	47
国際教育研修	講話「外国人児童生徒等の教育 ー子どもたちの現状と学校における支援の在り方ー」	1	68
人権教育研修	講話『『ふつう』から考える性の多様性』 他	2	84
環境教育研修	講話「地球の資源を宝に変える ～『もったいない』から生まれる新たな価値～」	1	73
学級経営研修	講話「学級経営に関する困り感への対応とその方法 ～学級で生じる日常的なトラブル問題の解決 (ピア・メディエーション)をめざして～」	1	18
道徳教育研修	講話「確かな学びを育てる『特別の教科 道徳』の授業づくり」	1	30
健康教育研修	講話「健康で安全な生活が主体的に実践できる子供の育成をねらって」	1	101
企画研修	講話「非認知能力 ～非認知能力を育む保育・教育～」 他	3	105
応急手当普及員 講習会	「応急手当普及員（救命指導員）」講習会	1	8

3 現職教育－職務研修

(1) 経営研修

管理職として教育の今日的課題を把握し、西宮教育の方向に対する理解を深めるために研修を実施した。

区 分	内 容	回数	参加人数
校園長研修	講話「子どもの未来に 夢持とう」	1	67

区 分	内 容	回数	参加人数
教頭研修	講話「西宮教育推進の方向と課題」 他	4	276

(2) 主幹教諭研修

区 分	内 容	回数	参加人数
主幹教諭研修	講話「学校の働き方改革」	1	136

(3) 西宮教育推進講座

区 分	内 容	回数	参加人数
西宮教育推進講座	講話「学校組織マネジメントによる教職員の育成」 他	4	202

(4) 年次研修

新任教員～5年次教員、中堅教員および15年次教員の資質向上を図り、教員としての専門性とより豊かな人間性を育てていくことをねらいとして研修を行った。

区 分	内 容	回数	参加人数
初任者研修	教師としての職務の遂行に必要な事項に関する実践的な内容	25	1,245
2年次教員研修	講話「特別支援教育について」、「生徒指導について」 講話「カウンセリングについて」 他	5	196
3年次教員研修	講話「幼児教育の視点で学級経営を見直す」 講話「西宮の不登校対策について」 他	3	156
4年次教員研修	講話「授業評価・演習」 講話「新学習指導要領を踏まえた特別支援教育の在り方」 講話・実習「良好な関係を築く保護者対応のしかた」	1	35
5年次教員研修	講話「企業に学ぶ」、「服務について」 講話「5年次教員へ伝えたいこと」	1	58
中堅教諭等 資質向上研修	資料配布「中堅教諭等資質向上研修の概要」 演習「少人数グループ研修『教科指導等』」 演習「少人数グループ研修『生徒指導等』」 選択研修	10	296
15年次相当研修	選択研修	1	93

(5) 臨時的任用教員研修

区 分	内 容	回数	参加人数
臨時的任用教員 研修	講話「服務について」 講話・グループ交流「授業づくりの基礎」 「学習指導の基本的な展開について」 他	2	93

(6) 学校事務職員研修

区 分	内 容	回数	参加人数
共通研修	講話「西宮教育について」 講話「業務改善と負担軽減を考える」 他	2	148
初任者研修	講話「学校事務職員の標準的職務領域と内容」 他	7	7
年次研修Ⅰ	講話「服務・福利厚生等について」「給与・旅費について」	2	24
年次研修Ⅱ	講話「学校事務職員の標準職務と果たす役割」	1	13
年次研修Ⅲ	講話「これからの学校」	1	23
年次研修Ⅳ	講話「学校における働き方改革と事務職員の役割・期待」	1	32

(7) 幼稚園職務研修

区 分	内 容	回数	参加人数
幼稚園管理職研修	講話「保育の質の向上 ～管理職としての役割～」	1	17
幼稚園新任教員 保育実技研修	講話「幼稚園教員として望むこと」 他	4	26
幼稚園3年次・ 4年次教員研修	講話・演習「幼稚園教育について」 他	2	2
幼児教育共通研修	講話「特別支援教育 ～発達障害のある子供の理解と保護者支援～」	1	62

4 教育情報

(1) 研究紀要等の発刊

今日的な教育課題を解決するための諸教育資料を発刊した。

ア 報告書、研究誌、学習資料等

領 域	名 称
教育啓発	まど No.98
科学教育	実験と観察 No.61
科学教育	中学校理科生徒研究発表会資料「われらのあゆみ」

イ 副読本、資料集

種 別	名 称
教育一般 小学校社会科	副読本「わたしたちの西宮」(3年、4年)、わたしたちの西宮市・兵庫県地区
教育一般 中学校社会科	「西宮郷土資料集」、西宮郷土地区

(2) 教科書展示会

「阪神南第2教科書センター」として、教科書研究や教育研究に資するため、各種の教科書を展示するとともに、法令による教科書展示会を下記のとおり実施した。

期 間	6月12日（日）から6月26日（日）まで14日間 ※ 6月20日（月）は移動日のため閉館。土・日曜日も開館。
会 場	総合教育センター教科書展示室及び西宮市立北口図書館
教 科 書	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校用教科書
来 会 者	教員78人（小学校49人、中学校18人、その他11人） 市民159人、教育委員会20人、合計257人

(3) 理科・生活科作品展

市内小中学生の、日常生活から素材を見つけた実験・観察の記録や、科学工作などの研究成果を交流しあうことにより、理科・生活科学習に対する意欲や関心を高めることを目的としている。

会場開催に代わり、作品の一部をケーブルテレビで放送の後、総合教育センターHPにて「ノーベル賞への第一歩」と題して公開した。

ベイコム放送日	10月17日～23日 毎日20:00～（約1時間30分）
総合教育センターHP	12月22日～次回作品紹介まで
出品児童・生徒数	小学生246人、中学生97人
作品の種類・出品数	

種 類		校 種		出 品 数				
		小 学 校		中 学 校	合 計			
		生 活 科	理 科					
A	標 本	植 物		4	3	1	8	
		動 物	昆 虫		3	2	2	7
			貝		0	0	0	0
			その他		1	0	2	3
	岩 石		0	1	0	1		
	化 石		0	0	0	0		
B	実 験 ・ 観 察	生 物		37	44	34	115	
		物理・化学		14	54	38	106	
		天 文		1	4	0	5	
		気 象		1	11	5	17	
		地 質		1	3	5	9	
そ の 他		5	20	6	31			
C	工 作	模 型		3	6	0	9	
		機械・装置		4	12	2	18	
		おもちゃ		7	0	0	7	
		そ の 他		0	2	0	2	
D	そ の 他		1	2	2	5		
合 計				82	164	97	343	

(4) 科学教室

ア わくわくサイエンス

理科に興味を持っている児童・生徒や理科で活躍している児童・生徒を対象に、実験や観察を通してその方法や技能を身につけさせ、同時に自然認識を高めることを目的としている。

開催日 7月27日(水)、7月28日(木)、7月29日(金)

会場 総合教育センター西宮浜分室 研修室4

講師 下表のとおり

受講者数 下表のとおり

◎ 小・中学生の部

月日	曜日	内容	講師	受講者数
7/27	水	ようこそ！不思議な光の世界へ	夙川小学校 教諭	14
7/28	木	歯を白く 葉をきれいに	甲陽園小学校 教諭	12
7/29	金	自分で作るおもしろ実験！	兵庫大学 教職センター 主査	11

イ わくわく自然観察

児童・生徒やその保護者の自然に対する関心に応えるために、理科学習に関する採集・標本作製・同定など理科研究についての指導を行った。

日時 8月2日(火) 午後2時～午後4時

会場 みやっこキッズパーク

講師 元西宮市立中学校 教諭、山口中学校 教諭

参加者 小学生8人 中学生1人

(5) 所報、講座・教室等計画一覧

ア 所報 令和4年度版通巻第59号(2023/3/31発行)

イ 講座・教室等計画一覧

新型コロナウイルス感染拡大防止のため研修等を中止したことから、令和2年度は研修等一覧を発行しなかった。令和3年度以降は必要性等を鑑み、研修等一覧を発行しないこととした。

(6) 学習支援サイト「まなみや」の活用 -コロナ禍における学びの継続への取組み-

令和2年3月から5月末までの学校臨時休業期間中には、児童生徒の学びの支援として、市HPに学習支援サイト「まなみや」を立ち上げた。同年4月には家庭学習の支援となる学習コンテンツへのリンクを掲載し、教育委員会事務局が作成した「家庭学習の進め方」を解説する動画を公開した。また、学習内容を解説した動画を教科研究委員の教員が作成し公開した。小学校の国語、算数、中学校の数学と英語、幼稚園向けの動画を作成し、延べ約3万回の視聴がみられた。

令和4年度は、これらを踏まえ、中学校教科等研究会の5教科の部会において、「まなみや」動画の作成を行った。

第 3 章 社会教育（教育委員会所管分）

概 要

<西宮市における「参画と協働」の社会づくりと全庁的な生涯学習推進体制の構築>

本市では、「第5次西宮市総合計画」の「未来を拓(ひらく) 文教住宅都市・西宮～憩い、学び、つながりのある美しいまち～」を都市目標とし、人と人、人と自然等の多様なふれあいの場を大切にし、心の豊かさを感じることで、中核市として一層魅力あふれるまちづくりを目指している。この計画の実現のため、市民の社会参加や社会貢献につながる環境の整備と市民のもつ豊かな知識・経験など「市民力」を生かす「参画と協働」の社会づくりを進めている。

社会教育については、令和元年6月に第9次地方分権一括法が公布され、地方公共団体の判断により公立社会教育施設の管轄を教育委員会から首長部局へ移管することが可能になった。これを受け、令和2年度に社会教育委員会を生涯学習審議会へ移行し、令和3年3月に全庁的な生涯学習施策の方向性を示した「西宮市生涯学習推進計画」（令和3年度～令和12年度）を改定するとともに、令和3年度に本市教育委員会が所管していた公民館・図書館・郷土資料館及び文化財行政を市長事務部局へ移管した。教育委員会においては、コミュニティ・スクール、放課後キッズルーム事業、PTA活動への支援、青少年補導活動など、特に学校教育と関連の深い事業を引き続き実施している。

このような経緯により市長を中心とした全庁的な生涯学習推進体制を確立したことを踏まえ、現在、市長と教育委員会が連携を密にして、学校教育を含む各教育施策の連携強化、生涯学習関連事業の効率化、社会教育施設、文化施設等を含む複合施設のあり方の見直しなどに取り組んでいる。

<教育委員会の取り組み>

子供たちを取り巻く環境や学校が抱える課題は複雑化・多様化しており、これからの変化の激しい社会を生きる子供たちのためには、社会総がかりで子供たちへの教育に携わることが重要であり、地域住民等と連携・協働体制を構築し、その協力を得ることが不可欠となっている。「夢はぐくむ教育のまち西宮」の実現に向け、新型コロナウイルス感染症の影響が残る中、様々な施策を実施した。

保護者や地域住民等が目指すべき教育のビジョンを共有し、目標の実現に向けて協働するコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）は、40校で導入したほか、令和5年度末までに幼稚園を除く全市立学校への導入を目指し、各校への支援を行った。

また、家庭教育に関する保護者の意識を高め、家庭において保護者が子供たちに基本的な生活習慣や規範意識、豊かな心等をはぐくむことができるよう、学習機会の充実を図るとともに、社会全体で保護者の学びや育ちを支援できるよう、学校・家庭・地域のつながりづくりに努めた。

青少年に対しては、自立心や感性を育成するための自然体験活動事業を実施する他、「西宮市二十歳のつどい」を開催した。また、青少年関係団体への支援により、青少年への多彩な地域活動の場の提供や社会参加の促進、子供たちへの多様な体験や交流の場の提供に努めるとともに、学校・家庭・地域の連携を深めて地域コミュニティの活性化を図り、地域の教育力が発揮できるような仕組みづくりに努めた。

学校施設や社会教育施設等を活用し、子供たちが放課後に安全かつ安心して過ごせる場を作り、地域住民に見守られながら主体的な遊びや学び等を通してコミュニケーション力や社会性、協調性等を育み、健全育成を図る放課後キッズルーム事業は、26校区で実施した。

非行化防止については、警察等の関係機関と情報共有しながら街頭補導に取り組んだ。また、市内全校区で合同補導を実施し、地域ごとの課題や問題を把握するとともに、学校や地域との連携強化を図った。

さらに、補導活動と生徒指導、学校問題解決支援などが緊密に連携することにより、情報の一元化を図り、より迅速な緊急対応や学校現場への更なる支援体制の構築に取り組んだ。

第1節 社会教育

1 家庭教育関係事業（230201）

新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底の上、家庭教育出張講座を開催するなど、学習機会の提供に努めた。

また、家庭教育に関する支援情報を市民に提供するため、情報誌（家庭教育ニュースレター『家族の絆』）を年2回発行した。さらに、学校・家庭・地域が連携する取組みとして定めた重点目標「思いやりのある西宮っ子を育てよう」や5つの実践目標を啓発するため、市立小学校・義務教育学校・特別支援学校に入学した新1年生の保護者ヘリーフレットを配布した。

さらに、講演会に参加しづらい保護者にも情報を届けるため、より身近で多くの人が集まる入学説明会において出張講座を開催した。

(1) 家庭教育出張講座

テーマ	講師	実施期間	回数	場所	対象	参加延人数
マザークラスでの絵本の読み聞かせ講座	NPO 法人 「絵本で子育て」 センター	4/20～1/18	4	中央保健福祉センター	妊婦	78
		4/25～2/27	6	北口保健福祉センター		102
		6/16～3/16	4	鳴尾保健福祉センター		41
		6/7～2/7	2	塩瀬保健福祉センター		10
		10/12	1	山口保健福祉センター		3
あーよかったなあなたがいて～こんなお母さん、お父さんになりたいな～	教育サポーター 仲島 正教	11/10	1	市立西宮高等学校	高校生	277
入学説明会での家庭教育講座	元・小学校長 森崎 義一	2/1	1	高須小学校	一般	27

(2) 家庭教育講演会

テーマ	講師	実施期間	回数	場所	対象	参加延人数
子どもの育ちをまんなかにおいた社会の実現とは ～今、大人たちにできること～	関西学院大学 人間福祉学部教授 桜井 智恵子	9/27	1	西宮市甲東ホール	一般・PTA	51
子どものコミュニケーションUP!!～始まりは心が通い合う温かい親子関係から～	親業訓練協会 シニア インストラクター 浦入 智子	1/28	1	西宮市大学交流センター大講義室	一般	26

(4) PTAの支援

令和3年度に引き続き、PTA活動の見直しについて西宮市PTA協議会と懇談を行った。

また、西宮市PTA協議会との各種共催事業として、単位PTAの役員・委員に対し、組織運営のあり方等の基本的な課題解決についての学習の機会を提供し、指導者の育成に努めるとともに、PTA活動の活性化とPTA会員同士の親睦を図った。

ア PTA役員・委員研修会（6/3～6/28 参加者数：144人）

イ PTA功労者表彰（被表彰者2人）

(5) ユネスコ活動の促進

教育・科学・文化を通じて「世界平和と人類の福祉に貢献する」ことを目指すユネスコ精神の啓発に努めるとともに、西宮ユネスコ協会が実施する各種事業の開催を支援した。

事業名	回数	実施日	概要	参加人数
国際理解講座	1	2/24	国内外で活躍されている方等を講師に招き、広く市民に多文化共生、国際理解を深めてもらうことを目的に講座を実施した。 【講師】：ジュール・イルマン（在京都フランス総領事/関西国際領事団団長） 【テーマ】在京都フランス総領事講演会「ビックリフランス!～皆さまのご存じないフランスをご紹介します～」	109
市政ニュース「ユネスコ特集記事」掲載	1	8/10号	ユネスコ活動の啓発を図り、市民に広くユネスコについて理解を深めてもらうため市政ニュースに特集として掲載した。	—
ユネスコ世界児童画展	1	3/21～3/26	市内の幼稚園の園児・小学校の児童及び外国の子供の絵を展示し国際交流を図った。	402
みんなく探検	—	—	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。	—

2 学校・家庭・地域の連携協力推進事業（230202）

(1) コミュニティ・スクール推進体制構築事業

幼稚園を除く全ての市立学校へのコミュニティ・スクール導入を目指し、各教育連携協議会等においてコミュニティ・スクールに関する説明を行った。

令和4年度は、16校（小学校12校、中学校3校、特別支援学校1校）にコミュニティ・スクールを導入し、学校運営協議会委員の任命を行ったほか、地域学校協働活動推進員を配置することで学校運営協議会と教育連携事業の一体的推進を図った。

ア 地域学校協働活動推進員を対象とした事前研修会の開催

開催回数 年 1回 参加者数 延26人

イ 地域学校協働活動推進員を対象とした地区ブロック別交流会の開催

開催回数 年10回 参加者数 延136人

ウ コミュニティ・スクール研修会

学校運営協議会委員や教育連携協議会委員、地域学校協働活動推進員等を対象に、2校の事例発表とグループワークを行った。

(2) 教育連携事業

市内の全市立小中学校や義務教育学校、特別支援学校に設置している学校運営協議会等を充実させ、地域の教育力の活性化を図るため、地域住民が学校の教育活動を支援する教育連携事業を下記のとおり推進した。

なお、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、会議及び事業の一部が中止となった。

ア 会議の開催

小学校 開催回数 延178回 中学校 開催回数 延90回 義務教育学校 開催回数 延10回
特別支援学校 開催回数 延2回

イ 事業の実施

校内の環境整備活動、児童の登下校の安全指導活動、授業の準備・補助、部活動支援等

小学校 事業数 延407事業 中学校 事業数 延137事業 義務教育学校 事業数 延24事業
(実施回数 延11,398回) (実施回数 延2,807回) (実施回数 延463回)

特別支援学校 事業数 延9事業
(実施回数 延88回)

ウ 西宮市学校・家庭・地域の連携協力推進協議会の開催 年1回

3 放課後キッズルーム事業 (230305)

放課後等に小学校の教室や運動場、社会教育施設等を活用し、子供たちの安全で自由な遊び場や学びの場を提供する「放課後キッズルーム事業」を実施。

なお、令和4年度から事業名称を「子供の居場所づくり事業」から「放課後キッズルーム事業」に変更し、市職員であるコーディネーターを学校に配置し、このコーディネーターが中心となって地域の方々とともに子供たちの成長を見守る事業形態を「放課後キッズルーム事業（直営型）」、育成センターの待機児童対策にもつながるよう運用を育成センターに近づけ、事業者に委託して実施する事業形態を「放課後キッズルーム事業（委託型）」と呼ぶこととしている。「放課後キッズルーム事業（直営型）」には、公民館で実施する事業形態、学校や地域の取組みに対して支援を行う事業形態も含まれるが、これらは順次コーディネーターを配置して実施する事業形態に移行する予定である。

「放課後キッズルーム事業（直営型）」については、新たに浜脇、段上西、津門、鳴尾北、名塩小学校区に導入し、20校区で実施した。「放課後キッズルーム事業（委託型）」については、新たに香櫨園小学校区に導入し、6校区で実施した。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、一部の学校で一定期間事業を中止した。

(1) 実施状況

実施校区	実施形態	活動場所	実施回数	参加延人数（子供）
浜脇小学校区	直営型	パソコン教室、相談室、運動場	68	3,461
安井小学校区	直営型	運動場、図書室、理科室	183	19,843
夙川小学校区	直営型	多目的室、相談室	191	3,811
北夙川小学校区	直営型	図書室	184	4,619
甲東小学校区	直営型	運動場、視聴覚室	128	5,629

実施校区	実施形態	活動場所	実施回数	参加延人数（子供）
上ヶ原小学校区	直営型	運動場、多目的室、 家庭科室	174	9,170
上ヶ原南小学校区	直営型	図書室、理科室	188	5,068
段上西小学校区	直営型	運動場、コンピューター室、 図書室、多目的室	131	6,340
深津小学校区	直営型	運動場、図書室	135	12,225
瓦林小学校区	直営型	運動場、仮設教室	173	9,773
津門小学校区	直営型	運動場、ランチルーム、 図書室	106	16,470
今津小学校区	直営型	図書室、ランチルーム	182	9,741
鳴尾北小学校区	直営型	運動場、ふれあい教室、 図書室	174	18,899
小松小学校区	直営型	運動場、視聴覚室、 学習センター	154	11,831
名塩小学校区	直営型	図書室、多目的室	74	3,716
西宮浜 義務教育学校区	直営型	運動場、ランチルーム	174	8,318
上甲子園小学校区	直営型	公民館（集会室）	69	378
春風小学校区	直営型	公民館（和室）	37	248
苦楽園小学校区	直営型	図書室	34	358
生瀬小学校区	直営型	運動場、図書室、 視聴覚室	17	1,029
香櫨園小学校区	委託型	運動場、図書室、 多目的室	219	14,309
神原小学校区	委託型	運動場、図書室、 家庭科室	218	7,527
甲陽園小学校区	委託型	運動場、図書室、 甲陽園市民館	219	11,408
平木小学校区	委託型	運動場、ランチルーム、 図書室	218	8,833
高木北小学校区	委託型	運動場、 ランチルーム	219	7,996
南甲子園小学校区	委託型	運動場、図書室、 ランチルーム	215	13,427
合計	—	—	3,884	214,427

(2) サポーター研修会

見守り活動を安全かつ円滑に行い子供の安全を確保するため、見守りサポーターを対象に、見守り体制や不審者の侵入、災害発生時の備え、緊急時の対応などについて意見交換を行う見守り活動研修会を適宜実施した。

実施回数 延17回 参加者数 延182人

(3) サポーター交流・研修会

市内で活動している全見守りサポーターを対象に交流・研修会を実施し、サポーターの役割について再確認するとともに、子供との接し方や、応急手当について学び、サポーター同士の交流会を開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

(4) 放課後子供教室事業

放課後に地域の方々の参画を得て、子供たちとともに勉強やスポーツ・文化活動、地域住民の交流活動等の取組を行う放課後子供教室事業を実施した。

開設地区等 28地区 開設回数 延717回

第2節 青少年教育

1 青少年育成事業 (230102)

(1) 青少年体験学習リーダーセミナー

コミュニケーション能力、協調性、他者と協働する能力、自立心、主体性、チャレンジ精神、責任感、規範意識、道徳心、創造力、柔軟な思考力、変化に対応する力といった社会を生き抜くために必要な力を育むための青少年リーダー向けセミナー

対象 高校生、大学生 前期 実施回数 17回 登録者数 8人
後期 実施回数 13回 登録者数 11人

(2) 子供の野外活動体験事業

子供たちが、自立心や生きる力を育み、社会の中で必要になる規律や協調性を身につけることができるように実施する野外活動体験事業

ア サマーキャンプ「ちろりん村」 参加者数 11人

イ こども野外活動体験事業（みやっこワイルド塾） ※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため

対象を家族に限定して実施。 実施回数 3回 参加者数 54家族195人

ウ 青少年デイキャンプ ※ 荒天のため中止

エ 青少年体験学習リーダーイベント 実施回数 2回 参加者数 40人

(3) 家族ふれあい事業

自然の中での豊かな感性の育成や様々な体験活動を通じた親子のふれあいや絆づくりを進めるための家族向け野外活動事業

ファミリーデイキャンプ 実施回数 2回 参加者数 11家族41人

(4) 青少年地域ふれあい支援事業

地域交流や異年齢交流の支援を目的に、地域の青少年健全育成を目的とする団体と連携して実施する、自然体験活動や野外活動事業

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

(5) 西宮市二十歳のつどいの実施

生まれ育った地元への愛着心を育むとともに、責任感ある社会人としての自覚を促すため実施した。

1月9日 阪神甲子園球場 参加者数 3,880人 (対象者数 5,396人)

(6) 西宮・栲原交流事業

西宮市と栲原町の小学5年生児童が交流し、理解と友好を深める事業

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

2 青少年関係団体の育成

(1) 西宮市子ども会協議会への助成

西宮市子ども会協議会の運営を円滑に推進し、青少年健全育成活動の基盤づくりを進めることを目的として、西宮市子ども会協議会に助成した。

ア 「子ども会大会」

次世代を担う子供たちがふれあい、思いやりの心を培い、健全な仲間作りのために、西宮市内の子ども会が一堂に集い、相互の交流を目的として開催した。

11月27日 西宮市役所周辺 参加者数 1,332人

イ 「文化サークル連盟発表会」

子供たちがバトンや鼓笛を披露。子供たちが日々の成果を発表することや、相互の交流を目的として開催した。

12月24日 西宮市民会館アミティ・ベイコムホール

(2) 地区青少年愛護協議会への助成及び「キッズのびのび事業」の実施

青少年に魅力的で多彩な地域活動の機会と場を提供して青少年の社会参加を促すとともに、家庭・学校・地域社会の連携を深めて地域コミュニティの活性化を図り、青少年健全育成活動を促進することを目的として、38地区青少年愛護協議会に補助金を交付し、237事業を実施した。

(3) 「家族ふれあい塾」事業の委託

子供たちに、自然・生活・社会体験活動等の文化的な活動を体験する機会と場を提供するとともに、親子や地域とのふれあいを通し、子供たちが自ら学び自ら考える力、豊かな人間性等の「生きる力」を育む体制づくりを目的として、19地区青少年愛護協議会に事業を委託した。

(4) 「青少年育成支援事業」の実施

ボーイスカウト、ガールスカウトが行う、次世代育成を通じて地域の貢献や活性化に寄与する、青少年を対象とした青少年育成事業（3事業）に助成した。

(5) 「西宮市青少年健全育成のつどい」の実施

11月第3金曜日になるお文化ホールにおいて、西宮市青少年健全育成功労者表彰式、「『地域の学校』をすべての子どもの安全基地に」をテーマに講演会を実施した。

参加者数 206人（うちZoom参加者41人）

3 山東自然の家管理運営事業（230104）

(1) 施設の利用状況

区分	西宮市		朝来市		その他		合計	
	件数	延人数	件数	延人数	件数	延人数	件数	延人数
学校	37	13,417	1	195	1	193	39	13,805
団体	11	1,642	10	464	17	1,819	38	3,925
家族	21	225	1	12	3	30	25	267
その他	7	494	0	0	0	0	7	494
合計	76	15,778	12	671	21	2,042	109	18,491

(2) 指定管理者による自主事業

指定管理者である一般社団法人山東自然の家が、施設を有効に活用し、利用促進を図るために実施する事業

「山東で蛍観賞」、「山東で自然学校体験」等8事業

4 青少年補導関係事業 (230103)

(1) 西宮市青少年補導・非行化防止懇話会

西宮市青少年補導・非行化防止懇話会の開催 年2回

(2) 青少年補導委員会議・研修会の開催

- ア 青少年補導委員代表者会 6回
- イ 阪神地区青少年補導委員研修会 1回
- ウ 県青少年補導委員研修会 1回
- エ 阪神南三市合同補導研修会 1回
- オ 青少年補導委員地区別反省会 7回

(3) 街頭補導活動

ア 街頭補導員による補導活動

学校保健安全課職員が街頭補導車により9:30~17:00(入学式や始業式、終業式は7:30~16:00)まで、市内全域を対象として巡回した。

イ 青少年補導委員による補導活動

青少年補導委員 170人

市内39各地区において声かけやあいさつを中心とした補導活動を地区毎に月3回程度、実施した。

また、学校保健安全課職員と各地区青少年補導委員、地域関係者、教職員等が合同で行う「地区別合同補導活動」は、市内全ての地区で実施した。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
地区数	0	0	0	0	0	5	16	7	5	6	1	3	43

(4) 特別・広域街頭補導の実施

- ア にしのみや市民祭り補導 10/22
- イ 西宮神社祭礼補導 1/9~1/11

(5) 環境浄化活動の推進

白ポストによる有害図書類の回収を行った。
設置箇所数 12箇所 回収点数 2,557点(令和4年度)

(6) 関係機関・地域関係団体との連携

青少年の健全育成や非行化防止をより効果的に推進するため、西宮市青少年補導委員連絡協議会の事業や活動について連携・助成を行うとともに、関係機関・地域関係団体と連携を図った。

(7) 広報啓発活動の推進

青色回転灯を設置した青少年育成課の街頭補導車により市内全域を巡回し、「子供たちが巻き込まれる事件・事故防止」の放送を流しながらの広報・啓発活動を年間通して行った。

地区青少年愛護協議会等、地域の会合に出席し、青少年の健全育成と非行化防止の啓発に努めた。

5 山東自然の家改修事業 (230106)

給水設備の制御盤を整備する工事を契約した。工事は令和5年度に実施する。

第 4 章 教 育 施 設

概 要

小学校施設整備

春風小学校教育環境整備事業では運動場施設整備工事及び敷地周辺道路整備工事を行った。また、安井小学校教育環境整備事業では校舎改築工事等を行い、令和5年3月に新校舎の引渡しを受けた。

その他として、甲東小学校及び段上小学校で大規模改修工事、高木小学校及び甲陽園小学校で長寿命化改修工事、浜脇小学校で長寿命化予防改修（屋上防水・外壁改修）工事、小松小学校で外壁改修及び外部建具改修工事、樋ノロ小学校で外壁改修、屋上防水及び外部建具改修工事、山口小学校でプールシート改修工事、瓦木小学校で電気設備改修工事、段上小学校及び瓦林小学校で受変電設備改修工事、甲子園浜小学校及び名塩小学校で空調設備改修工事、鳴尾小学校で個別空調化改修工事、浜脇小学校他9校で体育館空調設備設置工事、樋ノロ小学校他5校でトイレ改修工事、甲陽園小学校他4校でブロック塀改修工事、広田小学校他2校及び西宮浜義務教育学校（西校舎）で照明設備LED化改修工事、北夙川小学校で体育館床改修及びバスケットゴール改修工事、山口小学校で高圧ケーブル取替工事を行った。

中学校施設整備

瓦木中学校教育環境整備事業では先行アスベスト撤去工事を行った後、校舎改築工事に着手し、旧校舎の解体工事を行った。また、大社中学校教育環境整備事業では基本構想・基本計画策定業務の委託事業者選定を行い、業務着手した。

その他として、浜脇中学校で長寿命化予防改修（屋上防水・外壁改修）工事、鳴尾中学校で屋上防水工事、上ヶ原中学校及び今津中学校で外部建具改修工事、甲陵中学校でプールシート改修工事、真砂中学校で受変電設備改修工事、浜脇中学校及び高須中学校で空調設備改修工事、平木中学校他3校でトイレ改修工事、浜脇中学校他14校及び西宮浜義務教育学校（東校舎）で照明設備LED化改修工事、瓦木中学校で体育館バスケットゴール改修工事を行った。

特別支援学校施設整備

西宮支援学校校舎等改築事業では校舎改築工事期間中の仮移転先だった旧尼崎養護学校の校舎解体撤去費増額分（西宮市が実施した改修工事による増額費用）に係る負担金の支払いを行った。

高等学校施設整備

西宮高等学校でテニスコート部分改修工事、西宮高等学校及び西宮東高等学校で空調設備改修工事、西宮東高等学校で高圧ケーブル取替工事を行った。

幼稚園施設整備

浜脇幼稚園でブロック塀改修工事、夙川幼稚園で照明設備増設工事、越木岩幼稚園で階段手すり設置工事、高木幼稚園で空調設備設置工事を行った。

新型コロナウイルス感染症対策

小学校及び中学校のトイレ改修工事のうち床の乾式化、一部洋式便器化及び小便器自動洗浄機能追加については、新型コロナウイルス感染症対策のため、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、工事を実施した。

1 施設整備事業

(1) 西宮支援学校校舎等改築事業 (220808)

(単位：千円)

事業名	事業費	事業概要	備考
西宮支援学校校舎等改築	1,936	旧尼崎養護学校校舎解体撤去負担金支払	8箇年事業 (平成27～令和4年度)

(2) 春風小学校教育環境整備事業 (220809)

(単位：千円)

事業名	事業費	事業概要	備考
春風小学校教育環境整備	283,602	運動場施設整備工事他	7箇年事業 (平成28～令和4年度)

主な工事 (請負金額・税込2,500千円以上)

(単位：千円)

工事名称	請負金額
春風小学校校舎改築工事 ※1	2,910,979 (128,085)
春風小学校運動場施設整備工事 ※1	129,333 (90,700)
春風小学校育成センター新築工事 ※2	21,271 (11,145)
春風小学校育成センター新築電気設備工事 ※2	43,111 (9,604)
春風小学校育成センター新築機械設備工事 ※2	6,101 (427)
春風小学校周辺道路整備工事	24,660
春風小学校外植栽工事	10,943

※1 債務負担行為に係る請負契約については、カッコ書きで令和4年度中の支払額を掲載。

※2 債務負担行為に係る請負契約において他の改築工事と併せて実施した工事。請負金額は事業費全体のうち該当工事分を抽出し、カッコ書きで令和4年度中の支払額を掲載。

(3) 安井小学校教育環境整備事業 (220810)

(単位：千円)

事業名	事業費	事業概要	備考
安井小学校教育環境整備	3,081,827	校舎改築工事 他	9箇年事業 (平成28～令和6年度)

主な工事 (請負金額・税込2,500千円以上)

(単位：千円)

工事名称	請負金額
安井小学校改築工事	2,865,334 (2,053,271)
安井小学校改築電気設備工事	304,975 (299,196)

工 事 名 称	請負金額
安井小学校改築衛生設備工事	211,539 (201,790)
安井小学校改築空調設備工事	245,784 (236,407)
安井小学校防災行政無線更新工事	7,205

※ 債務負担行為に係る請負契約については、カッコ書きで令和4年度中の支払額を掲載。

(4) 瓦木中学校教育環境整備事業 (220811)

(単位：千円)

事 業 名	事 業 費	事 業 概 要	備 考
瓦木中学校教育環境整備	536,154	校舎改築工事 他	10箇年事業 (平成29～令和8年度)

主な工事 (請負金額・税込2,500千円以上)

(単位：千円)

工 事 名 称	請負金額
瓦木中学校校舎改築他工事	3,259,223 (162,961)
瓦木中学校アスベスト撤去他工事	51,687 (51,687)

※ 債務負担行為に係る請負契約については、カッコ書きで令和4年度中の支払額を掲載。

(5) 大社中学校教育環境整備事業 (220829)

(単位：千円)

事 業 名	事 業 費	事 業 概 要	備 考
大社中学校教育環境整備	198	基本構想・基本計画策定 業務の委託事業者選定	12箇年事業 (令和3～令和14年度)

(6) 学校施設長寿命化改修事業 (220805)

ア 長寿命化改修・大規模改修事業

(単位：千円)

事 業 名	事 業 費	事 業 概 要
長寿命化改修・大規模改修	965,114	甲東小 3箇年事業 (令和2～令和4年度) 高木小 3箇年事業 (令和2～令和4年度) 段上小 2箇年事業 (令和4～令和5年度) 甲陽園小 3箇年事業 (令和4～令和6年度)

主な工事 (請負金額・税込2,500千円以上)

(単位：千円)

工 事 名 称	請負金額
甲東小学校 北東棟大規模改修工事 ※1	279,486 (47,703)
高木小学校 南棟・体育館棟長寿命化改修工事 ※1	679,424 (244,955)
段上小学校 大規模改修他工事 ※2	1,332,664 (563,184)

工 事 名 称	請負金額
甲陽園小学校 長寿命化改修他工事 ※1	1,540,000 (4,314)

※1 債務負担行為に係る請負契約については、カッコ書きで令和4年度中の支払額を掲載。

※2 債務負担行為に係る請負契約において他の改修工事と併せて実施した工事。請負金額は事業費全体のうち該当工事分を抽出し、カッコ書きで令和4年度中の支払額を掲載。

イ 長寿命化予防改修（外壁改修・屋上防水）事業 (単位：千円)

事 業 名	事 業 費	事 業 概 要
長寿命化予防改修 (屋上防水・外壁改修)	107,862	令和3年度予算繰越事業 浜脇小、浜脇中

主な工事（請負金額・税込2,500千円以上） (単位：千円)

工 事 名 称	請負金額
浜脇中学校南西棟他・浜脇小学校体育館屋上防水改修及び外壁改修工事	104,056

ウ 屋上防水事業 (単位：千円)

事 業 名	事 業 費	事 業 概 要
屋上防水	40,868	樋ノ口小、鳴尾中

主な工事（請負金額・税込2,500千円以上） (単位：千円)

工 事 名 称	請負金額
樋ノ口小学校北棟便所改修及び体育館棟他外壁・屋上防水・外部建具改修工事 ※	11,178
鳴尾中学校 北東棟他屋上防水改修工事	29,190

※ 他の改修工事と併せて実施した工事。請負金額は事業費全体のうち該当工事分を抽出して記載。

エ 外壁改修事業 (単位：千円)

事 業 名	事 業 費	事 業 概 要
外壁改修	156,308	令和3年度予算繰越事業 樋ノ口小、小松小

主な工事（請負金額・税込2,500千円以上） (単位：千円)

工 事 名 称	請負金額
小松小学校 北棟・教室棟・中棟・南棟・機械室外壁改修他工事 ※	135,504
樋ノ口小学校 北棟便所改修及び体育館棟他外壁・屋上防水・外部建具改修工事 ※	20,804

※ 他の改修工事と併せて実施した工事。請負金額は事業費全体のうち該当工事分を抽出して記載。

オ 外部建具改修事業

(単位：千円)

事業名	事業費	事業概要
外部建具改修	71,737	令和3年度予算繰越事業 小松小、上ヶ原中、今津中 令和4年度予算事業 樋ノ口小

主な工事（請負金額・税込2,500千円以上）

(単位：千円)

工事名称	請負金額
樋ノ口小学校 北棟便所改修及び体育館棟他外壁・屋上防水・外部建具改修工事 ※	22,953
上ヶ原中学校体育館棟建具改修及び平木中学校管理・特別・普通教室棟西便所改修工事 ※	34,889
今津中学校 南棟建具改修工事 ※	10,054

※ 他の改修工事と併せて実施した工事。請負金額は事業費全体のうち該当工事分を抽出して記載。

カ プールシート改修事業

(単位：千円)

事業名	事業費	事業概要
プールシート改修	44,498	山口小、甲陵中

主な工事（請負金額・税込2,500千円以上）

(単位：千円)

工事名称	請負金額
山口小学校 プール改修工事	18,079
甲陵中学校 プール改修工事	26,419

キ 電気設備改修事業

(単位：千円)

事業名	事業費	事業概要
電気設備改修	25,850	瓦木小

主な工事（請負金額・税込2,500千円以上）

(単位：千円)

工事名称	請負金額
瓦木小学校 体育館電気設備改修工事	25,850

ク 受変電設備改修事業

(単位：千円)

事業名	事業費	事業概要
受変電設備改修	58,514	段上小、瓦林小、真砂中

主な工事（請負金額・税込2,500千円以上）

（単位：千円）

工 事 名 称	請負金額
段上小学校 受変電設備改修工事	27,004
瓦林小学校 受変電設備改修工事	14,850
真砂中学校 受変電設備改修工事	15,015

ケ 空調設備整備事業

（単位：千円）

事 業 名	事 業 費	事 業 概 要
中学校施設空調設備整備	19,641	P F I 事業に係る空調整備費用の分割払い

コ 空調設備改修事業

（単位：千円）

事 業 名	事 業 費	事 業 概 要
空調設備改修	88,363	甲子園浜小、名塩小、浜脇中、高須中、西宮高、西宮東高

主な工事（請負金額・税込2,500千円以上）

（単位：千円）

工 事 名 称	請負金額
甲子園浜小学校 図書室空調設備改修工事	8,910
名塩小学校 音楽室系統空調設備改修機械設備工事	7,610
浜脇中学校 北中棟他空調設備改修機械設備工事	5,031
浜脇中学校 北中棟他空調設備改修電気設備工事	2,890
高須中学校 コンピューター室空調改修機械設備工事	5,676
西宮高等学校 南棟3階・北棟4階空調設備改修機械設備工事	22,436
西宮東高等学校 南棟3階空調設備改修機械設備工事	17,765
西宮高等学校・西宮東高等学校 空調設備改修電気設備工事	6,206
西宮高等学校 保健室他系統空調設備改修工事	3,872
西宮高等学校 国語準備室系統空調設備改修工事	3,582

サ 全館空調設備の個別空調化改修事業

(単位：千円)

事業名	事業費	事業概要
個別空調化改修	153,543	令和3年度予算繰越事業 鳴尾小

主な工事（請負金額・税込2,500千円以上）

(単位：千円)

工事名称	請負金額
鳴尾小学校 空調設備改修工事	137,571
鳴尾小学校 空調設備改修電気設備工事	15,950

シ 体育館空調設備設置事業

(単位：千円)

事業名	事業費	事業概要
体育館空調設備設置	367,824	浜脇小、大社小、甲陽園小、段上西小、樋ノ口小、 瓦林小、今津小、鳴尾小、山口小、生瀬小

主な工事（請負金額・税込2,500千円以上）

(単位：千円)

工事名称	請負金額
浜脇小学校・今津小学校・鳴尾小学校 体育館空調機械設備工事	86,673
大社小学校・段上西小学校・樋ノ口小学校・瓦林小学校 体育館空調機械設備工事	131,452
甲陽園小学校・山口小学校・生瀬小学校 体育館空調機械設備工事	73,678
浜脇小学校・今津小学校・鳴尾小学校 体育館空調電気設備工事	20,925
大社小学校・段上西小学校・樋ノ口小学校・瓦林小学校 体育館空調電気設備工事	26,670
甲陽園小学校・山口小学校・生瀬小学校 体育館空調電気設備工事	17,258

ス 高等学校施設整備事業

(単位：千円)

事業名	事業費	事業概要
高等学校施設整備	10,760	西宮高（テニスコート部分改修他）

セ トイレ改修事業

(単位：千円)

事業名	事業費	事業概要
トイレ改修	230,126	令和3年度予算繰越事業 樋ノ口小、平木中 令和4年度予算事業 夙川小、北夙川小、平木小、上甲子園小、山口小、 今津中、鳴尾南中、塩瀬中

主な工事（請負金額・税込2,500千円以上）

（単位：千円）

工 事 名 称	請負金額
樋ノ口小学校 北棟便所改修及び体育館棟他外壁・屋上防水・外部建具改修工事 ※	39,473
樋ノ口小学校 北棟便所改修衛生設備工事	20,724
樋ノ口小学校 北棟便所改修電気設備工事	4,623
上ヶ原中学校体育館棟建具改修及び平木中学校管理・特別・普通教室棟西便所改修 工事 ※	31,643
平木中学校 管理・特別・普通教室棟西便所改修衛生設備工事	17,820
平木中学校 管理・特別・普通教室棟西便所改修電気設備工事	3,553
学校施設便所簡易改修建築（その1）工事 （山口小学校、塩瀬中学校）	15,256
学校施設便所簡易改修衛生設備（その1）工事 （山口小学校、塩瀬中学校）	13,009
学校施設便所簡易改修建築（その2）工事 （夙川小学校、北夙川小学校）	13,509
学校施設便所簡易改修衛生設備（その2）工事 （夙川小学校、北夙川小学校）	10,385
学校施設便所簡易改修建築（その3）工事 （平木小学校、上甲子園小学校）	12,062
学校施設便所簡易改修衛生設備（その3）工事 （平木小学校、上甲子園小学校）	9,086
学校施設便所簡易改修建築（その4）工事 （今津中学校、鳴尾南中学校）	24,806
学校施設便所簡易改修衛生設備（その4）工事 （今津中学校、鳴尾南中学校）	12,978

※ 他の改修工事と併せて実施した工事。請負金額は事業費全体のうち該当工事分を抽出して記載。

ソ 床改修事業

（単位：千円）

事 業 名	事 業 費	事 業 概 要
床改修	24,668	北夙川小

主な工事（請負金額・税込2,500千円以上）

（単位：千円）

工 事 名 称	請負金額
北夙川小学校体育館床・バスケットゴール改修及び瓦木中学校バスケットゴール 改修工事 ※	24,228

※ 他の改修工事と併せて実施した工事。請負金額は事業費全体のうち該当工事分を抽出して記載。

タ ブロック塀改修事業

（単位：千円）

事 業 名	事 業 費	事 業 概 要
ブロック塀改修	42,259	甲陽園小、段上小、段上西小、瓦木小、鳴尾東小、 浜脇幼

主な工事（請負金額・税込2,500千円以上）

（単位：千円）

工 事 名 称	請負金額
学校施設コンクリートブロック塀改修（その1）工事 （甲陽園小学校）	16,357
学校施設コンクリートブロック塀改修（その2）工事 （段上西小学校、瓦木小学校、浜脇幼稚園）	11,590
段上小学校 大規模改修他工事 ※	1,332,664 (7,752)

※ 債務負担行為に係る請負契約において他の改修工事と併せて実施した工事。カッコ書きの請負金額は該当工事分を抽出して記載。

チ 照明設備LED化改修事業

（単位：千円）

事 業 名	事 業 費	事 業 概 要
照明設備LED化改修	555,888	広田小、鳴尾北、小松小、浜脇中、上ヶ原中、甲陵中、平木中、深津中、上甲子園中、今津中、真砂中、鳴尾中、浜甲子園中、鳴尾南中、高須中、学文中、山口中、塩瀬中、西宮浜義務（西校舎・東校舎）

主な工事（請負金額・税込2,500千円以上）

（単位：千円）

工 事 名 称	請負金額
鳴尾北小学校・西宮浜義務教育学校（西）・広田小学校・小松小学校 照明設備LED化工事	109,153
浜脇中学校・西宮浜義務教育学校（東）・平木中学校・深津中学校 照明設備LED化工事	111,078
上ヶ原中学校・学文中学校・上甲子園中学校 照明設備LED化工事	76,945
鳴尾中学校・今津中学校・真砂中学校 照明設備LED化工事	76,266
高須中学校・浜甲子園中学校・鳴尾南中学校 照明設備LED化工事	73,809
山口中学校・甲陵中学校・塩瀬中学校 照明設備LED化工事	97,292

ツ その他改修整備事業

（単位：千円）

事 業 名	事 業 費	事 業 概 要
体育館バスケットゴール改修	15,129	北夙川小、瓦木中
高圧ケーブル取替	9,359	山口小、西宮東高
連携公立幼稚園事業	2,352	夙川幼、越木岩幼、高木幼
特別支援対応・教室転用等改修 （債務負担行為）	23,581	—

主な工事（請負金額・税込2,500千円以上）

（単位：千円）

工 事 名 称	請負金額
北夙川小学校体育館床・バスケットゴール改修及び瓦木中学校バスケットゴール改修工事 ※	14,843
山口小学校 高圧ケーブル取替他工事	2,669
西宮東高等学校 高圧ケーブル取替工事	6,191

※ 他の改修工事と併せて実施した工事。請負金額は事業費全体のうち該当工事分を抽出して記載。

2 学校維持管理事業（220803）

（単位：件・千円）

区 分	工事件数	工事金額	区 分	工事件数	工事金額
小 学 校 ※	550	195,084	幼 稚 園	51	17,360
中 学 校 ※	322	117,245	高 等 学 校	51	16,791
特別支援学校	13	3,143	計	987	349,623

※ 西宮浜義務教育学校西校舎は小学校に、東校舎は中学校にそれぞれ計上。

主な工事（請負金額・税込2,500千円以上）

（単位：千円）

工 事 名 称	請負金額
学校園給排水衛生設備年間補修工事	49,234
鳴尾中学校 北東棟教室床改修工事	4,400

3 施設管理関係事務 (220802)

(1) 教育財産（学校施設）の異動状況

区 分		増 加		減 少		備 考	
		件 数	面積 (㎡)	件 数	面積 (㎡)		
土 地	取得(引継等)	0	0	0	0		
	所管換等	0	0	1	8.88	春風小	
建 物	取 得	10	8,457.76	0	0		
	内 訳	新 築	9	8,355.29	0	0	安井小、春風小
		増 築	0	0	0	0	
		引 継	1	102.47	0	0	春風小
	廃 止	0	0	1	28.35	春風小	
	所管換	0	0	0	0		

(2) 学校園施設の目的外使用許可状況

(単位: 件)

区 分	運 動 場	屋内運動場	教 室	プ ール	計	内 訳	
						有 料	無 料
幼 稚 園	2	1	69	0	72	1	71
小 学 校	42	141	82	0	265	19	246
中 学 校	113	647	0	0	760	105	655
特別支援学校	0	6	12	0	18	1	17
高 等 学 校	0	1	0	0	1	0	1
計	157	796	163	0	1,116	126	990

(3) 西宮東高校ホール（なるお文化ホール）

ア 概要

ホール（644席・車椅子席12席を含む）、会議室（40人）及び学習室兼会議室（48人）を持つ施設として昭和63年8月に開館。

イ 利用件数（午前・午後・夜間をそれぞれ1件として計上）

- ・ ホール 465件
- ・ 会議室 309件
- ・ 会議室兼学習室 286件

ウ ホール利用率（学校の利用を含む）

57.5%（利用日数／開館日数）

西宮市教育年報 令和4年度(2022年度)版

令和5年8月発行
(2023年)

編集・発行 西宮市教育委員会